

1 ふるさと納税の推進

イラスト

いまの姿

- 平成 26 年度(初年度)のふるさと寄附金は 7,137 千円でしたが、平成 31 年度には 3 億円を、翌年度には 7 億円を突破しました。令和 4 年度からは毎年度 8 億円を超えているものの、9 億円には到達していない状況です。
- 令和 6 年度に日出町ふるさと納税連絡協議会を立ち上げ、返礼品提供事業者等と協働して、ふるさと納税の促進に取り組んでいます。
- 日出町のふるさと納税の主な返礼品は、おおいた和牛、むぎ焼酎、卵、ヘッドホン、かぼす製品、トマト、巨峰などです。

8年後の姿

日出町のファンが増えており、多くのファンの応援、支援により、町が活性化しています。

成果指標

ふるさと寄附金額

8.75 億円 → 15 億円

（令和6年度）

（令和15年度）

8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナシップで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 魅力ある返礼品を揃えます

行政の取り組み

- 商工会等関係団体と連携し、返礼品の発掘、開発に取り組みます。
- 返礼品提供事業者を繋ぎ、コラボ商品の開発等、既存返礼品のブラッシュアップに取り組みます。
- 町外事業者も含め、新規返礼品提供事業者の発掘に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 返礼品のアイディアや返礼品提供事業者の情報等があれば、積極的に役場と相談しましょう。
- 日出町ふるさと納税連絡協議会で、コラボ商品も含め新規返礼品の開発等について、活発に話し合しましょう。

2. ふるさと納税の更なるPRに取り組みます

行政の取り組み

- ふるさと納税ポータルサイトに掲載する画像や文章をブラッシュアップし、より返礼品の魅力が伝わる情報発信に取り組みます。
- 首都圏のみならず、様々なイベントに積極的に参加し、日出町の返礼品をPRします。
- SNSや新聞、広告等、様々な媒体を通じて、日出町へのふるさと納税をPRします。

みんなで一緒に取り組もう

- 町外の親戚や友人、また、自社の社員や取引先の企業等に対して、積極的に日出町へのふるさと寄附をPRしましょう。
- 日出町の返礼品やふるさと寄附金が日出町で何に使われているか知っておきましょう。

3. リピーター（日出町のファン）の増加に取り組みます

行政の取り組み

- ふるさと寄附者に、日出町のファンになってもらえるよう、丁寧なお礼状やお礼メールを定期的に送ります。
- ふるさと寄附者からの問合せに対して、ひとつひとつ丁寧に対応します。

みんなで一緒に取り組もう

- 町外の親戚や友人、また、自社の社員や取引先の企業等に対して、積極的に日出町の返礼品の魅力を伝えましょう。
- 返礼品提供事業者は、ふるさと寄附者に返礼品を送る際には、丁寧な梱包を心掛け、オリジナルのお礼状等を同梱しましょう。

2 産官学金等との連携

イラスト

いまの姿

- 地域活性化や防災、カーボンニュートラルなど様々な施策・分野において、企業や大学、金融機関などと個別連携協定や包括連携協定の締結を進めています。
- おおいた地域連携プラットフォームをはじめ、大学等と連携し、町内の地域課題の解決に向けた取り組みを進めています。

8年後の姿

産官学金等の連携により、多様なステークホルダーがまちづくりに参画し、地域課題の解決が進んでいます。

成果指標

産官学金等との連携協定締結件数

14 件

（令和6年度）



累計 50 件

（令和8～15年度累計）

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 企業や大学等との連携を推進します

行政の取り組み

- 様々な企業との包括連携協定締結を推進し、相互にメリットをもたらす仕組みを構築します。
- 大学や企業と連携し、地域課題の解決を目的とした共同研究に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 町の課題を地域の人々で話し合います。

2. 多様な人材と地域課題の解決を図ります

行政の取り組み

- 若者世代や地域住民のほか、ステークホルダーとの連携により、地域課題の解決に取り組みます。
- 持続可能なまちづくりを推進するため、SDGsに取り組む団体が相互に連携を取れる体制を整えます。

みんなで一緒に取り組もう

- 町内外の様々な人材に、積極的に地域課題を相談しましょう。

3. 地域の将来を担う人材を育成します

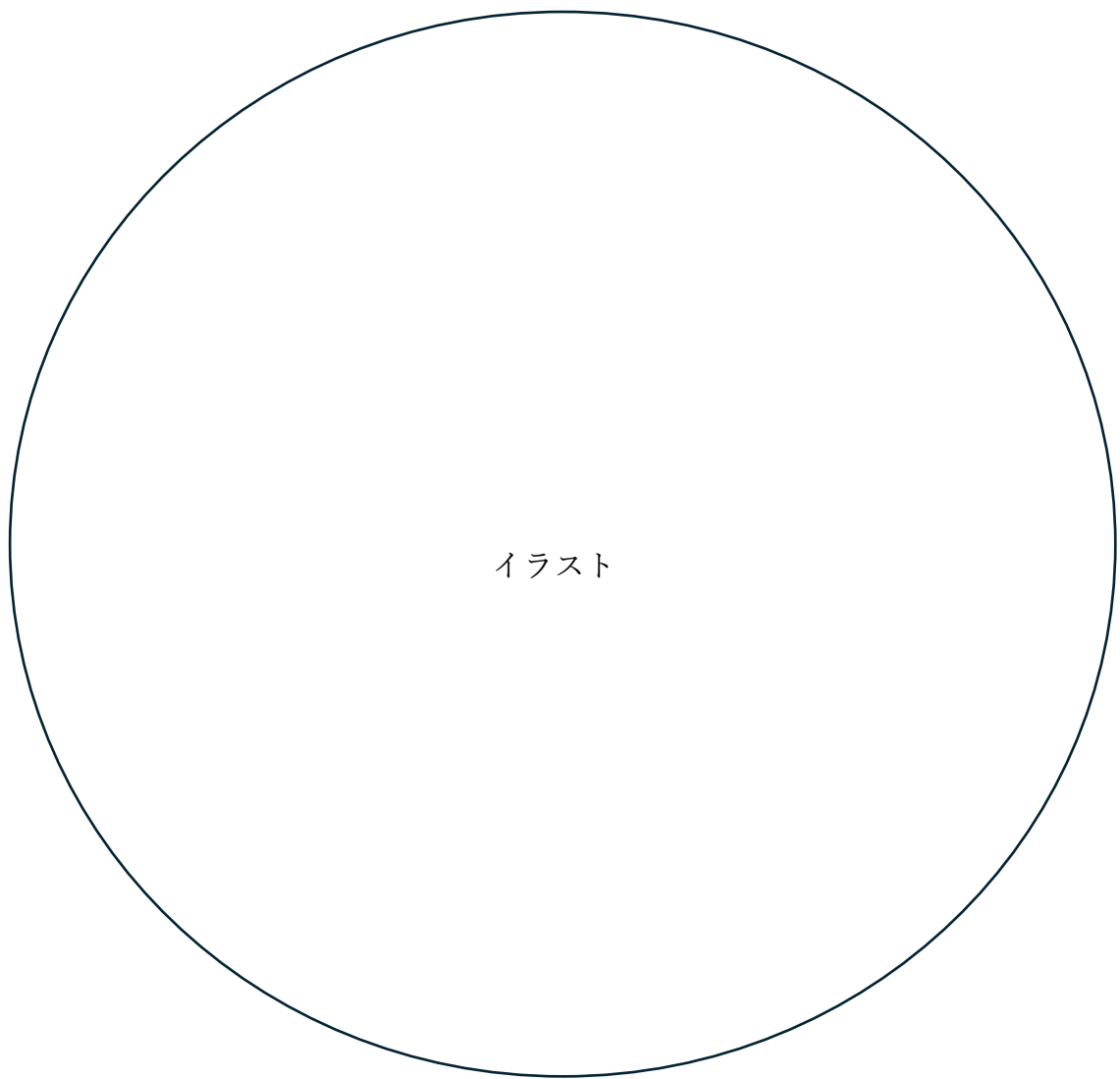
行政の取り組み

- 高校・大学と連携して、インターンシップ制度を活用し、人材育成と地域振興を推進します。
- 企業や教育委員会と連携し、中学生が職場体験できる場所の充実を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 高校生や大学生のインターンや地域活動を温かく受け入れましょう。

3 タウンプロモーションの推進



イラスト

いまの姿

- 株式会社サンリオエンターテイメントと「ハローキティとくらすまち ひじ」というキャッチフレーズのもと連携し、サンリオキャラクターを活用したタウンプロモーション事業を進めています。
- 本町は、地域資源等の魅力を十分に情報発信できていない状況が続いており、その結果として、本町の全国的な知名度は依然として低い水準にとどまっています。

8年後の姿

全国に日出町の魅力が伝わり、日出町のファンが増えています。

成果指標

関係人口

35,232 人 → 50,000 人

（令和6年度）

（令和15年度）

8

働きがいも
経済成長も



11

住み続けられる
まちづくりを



12

つくる責任
つかう責任



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 情報発信を強化します

行政の取り組み

- 観光・移住・産業の3分野で一貫性あるデザインやメッセージを使ったプロモーションを展開します。
- 町のプロモーション動画を制作し、SNS や YouTube など積極的に発信します。
- 多様なステークホルダーや住民・事業者等と連携して情報発信を行い、認知度向上を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 日出町の公式 SNS をフォローし、積極的に拡散しましょう。
- 日出町のことを SNS で投稿するときは「#日出町」など関連するハッシュタグをつけましょう。

2. 住民や事業者と連携してプロモーションに取り組みます

行政の取り組み

- 住民や事業者と協力し、日出町の様々な地域資源をブラッシュアップし、ブランド化を目指します。
- まちの魅力を整理し、マーケティング戦略に沿った効果的なプロモーションに取り組みます。
- 事業者と協力し、「ハローキティとくらすまち」づくりに引き続き取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 日出町のイベントやキャンペーンに積極的に参加しましょう。
- 移住希望者に「町の案内人」として親切に接し、まちの魅力を伝えましょう。

4

公共交通の充実

イラスト

いまの姿

- 令和 5 年 10 月からデマンド型公共交通とコミュニティバスの複合型公共交通体系を構築し、町内の交通不便地域の解消に取り組んでいます。
- 路線バスやタクシーは、利用者減少や運転手不足の影響で厳しい状況にあります。特に路線バスは縮小が続き、町外への移動手段が限られている状況です。
- 高齢化による交通弱者が今後増える見込みのため、町内の公共交通をネットワークとして最適化し、持続可能な仕組みづくりを進めていく必要があります。
- 町内には JR の駅が 4 か所あることから、町外への移動は比較的しやすい状態になっています。

8年後の姿

町内のどこに住んでも移動に困ることがなく、誰もが安心して暮らしています。

成果指標

町関係公共交通利用者数(10月～9月)

11,839 人 → 30,000 人
(令和6年度) (令和15年度)

3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナースhipで目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 交通ネットワークの再整備に取り組みます

行政の取り組み

- 現在の交通利用者数や利用場所などを分析し、日出町にあった適切な運行ルート・方法を調査します。
- 高齢者・交通弱者支援につながる交通施策を推進します。

みんなで一緒に取り組もう

- 公共交通を積極的に利用して、持続的な運行につなげましょう。
- 交通サービスの改善ため、利用状況や意見などのアンケートに回答しましょう。

2. 広域交通網の利用促進を図ります

行政の取り組み

- 幹線バスや JR 駅と接続するフィーダー交通を整備し、通勤・通学・通院に便利な乗継環境を整えます。
- 近隣自治体との広域公共交通ネットワークの構築を進めます。

みんなで一緒に取り組もう

- 通勤・通学・買物などでは、家族や友人と一緒にバスや鉄道を利用しましょう。

■関連計画 日出町地域公共交通計画

■用語解説 デマンド交通…予約に応じて運行する時刻や経路が変わる交通形態

フィーダー交通…駅や幹線バス停など主要路線に人を運ぶ乗り継ぎのための補助交通

5 移住・定住の促進

イラスト

いまの姿

- オンラインでの移住相談をはじめ、空き家の利活用やお試し体験住宅のお試し居住、さらには、移住応援給付金を新設し、移住の促進に取り組んでいます。
- 町の人口は若干の社会増ではあるものの、自然減が大きく、減少傾向にあります。人口増加に向け、移住支援体制を整備するとともに、本町の知名度向上に向けた情報発信を強化し、移住者数を増やしていくことが重要です。

8年後の姿

日出町が住みよい町と認知され、様々な世代の移住・定住者が増え、人口が増えています。

成果指標

移住者数

62 人

（令和6年度）



100 人

（令和15年度）

8

働きがいも
経済成長も



11

住み続けられる
まちづくりを



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 移住しやすい環境を整備します

行政の取り組み

- 移住支援金や就業支援、二地域居住の推進など、移住しやすくなる支援策の充実を図ります。
- 移住者との交流会などが開催できるよう交流体制の整備を図ります。
- 空き家調査の強化を図り、より多くの空き家を登録し、移住者に情報提供していきます。

みんなで一緒に取り組もう

- 空き家や土地の情報を町に提供しましょう。
- 新しく移住してきた人に声をかけ、地域行事や活動に誘いましょう。

2. 移住・定住に向けた PR を積極的に発信します

行政の取り組み

- 日出町の魅力や日出町での暮らしのイメージがしやすいように、移住定住者向けのサイトを制作し、町外に情報発信します。
- 移住に興味のある方々に響くような動画を制作し、SNS 等を通じて積極的に情報発信します。

みんなで一緒に取り組もう

- 町外に住む友人・知人に日出町の魅力を紹介し、移住や交流のきっかけを広げましょう。

6 商工業の振興

イラスト

いまの姿

- 商工業の担い手不足や物価高騰による経営圧迫が課題となっており、商工会の会員数は541名と減少傾向にあります。
- 多くの事業者で人材の確保が難しく、経営の継続や成長に影響が出ています。さらに、経営者の高齢化が進む中で、事業承継の準備は十分に進んでおらず、計画的に対応しなければ将来的に地域経済に大きな影響を与えることが懸念されています。

8年後の姿

事業者の事業承継が進む中で、地域の商工業も持続的に成長し、地域経済を支えています。

成果指標

商工会会員数

541 人 → 560 人
(令和6年度) (令和15年度)

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 地元企業を支える体制を整備します

行政の取り組み

- 企業訪問を通じて、事業者の声や課題を把握します。
- 支援制度や補助金などをわかりやすく案内し、利用促進を図ります。
- 事業者寄り添い、課題解決に向けた伴走型の支援体制を強化します。

みんなで一緒に取り組もう

- 地域の中小企業が提供する商品やサービスを利用し、応援しましょう。
- 町内の事業者の活動に関心を持ち、地域の産業を知るきっかけにしましょう。

2. 事業承継をサポートします

行政の取り組み

- 事業承継の重要性を伝える広報に取り組み、早期からの準備を促します。
- 商工会や関係機関と連携し、相談窓口を設置します。
- 承継に伴う税制や支援制度をわかりやすく周知し、円滑な引き継ぎを支援します。

みんなで一緒に取り組もう

- 家業や地域の事業について、将来の担い手について考えておきましょう。
- 承継を身近なこととして捉え、準備や相談は早めに進めましょう。

3. 働く場と働く人をつなぎます

行政の取り組み

- 就職フェアやマッチングイベントを開催し、企業と人材の出会いを支援します。
- 若者や女性、高齢者など多様な人材が働きやすい環境づくりを進めます。
- 近隣市町や関係機関と連携し、人材確保に向けた広域的な取組を展開します。

みんなで一緒に取り組もう

- 地域での就職や転職に関心を持ち、就職フェアなどに積極的に参加しましょう。
- 地元企業のインターンシップに参加しましょう。

7 企業の誘致

イラスト

いまの姿

- 川崎工業団地は分譲に向けて造成が進んでおり、町外企業の立地はこれから本格的に動き出す段階にあります
- 一方、町内企業では、新しい社屋の建設や設備投資など、前向きな動きが少しずつ広がっています。
- 大分市や大分空港、高速道路へのアクセスに恵まれており、この強みを活かした展開が今後ますます期待されています。

8年後の姿

企業立地が進み、投資の拡大や新たな雇用により、地域に活気が溢れています。

成果指標

企業誘致件数

0 件

（令和6年度）



13 件

（令和8～15年度累計）

8

働きがいも
経済成長も



9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



11

住み続けられる
まちづくりを



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 企業訪問を強化します

行政の取り組み

- アンケートなどの活用により、効率的な企業訪問に取り組みます。
- 町外だけでなく、町内企業にも積極的に訪問します。
- 関係機関や町内企業から積極的に情報収集し、企業訪問に活用します。

みんなで一緒に取り組もう

- 新しく立地する企業や従業員を地域に迎え入れるため、日常のつながりを大切にしましょう。

2. 立地環境の魅力を発信します

行政の取り組み

- ホームページやパンフレット、SNSを活用し、企業への情報発信を強化します。
- 交通インフラへのアクセスの良さをはじめ、本町の立地条件をわかりやすく発信します。
- 企業活動や成功事例を紹介し、安心して立地できるイメージを広げます。

みんなで一緒に取り組もう

- まちの魅力を町外の事業者を紹介し、地域の良さを広めましょう。

3. 企業が進出しやすいよう支援します

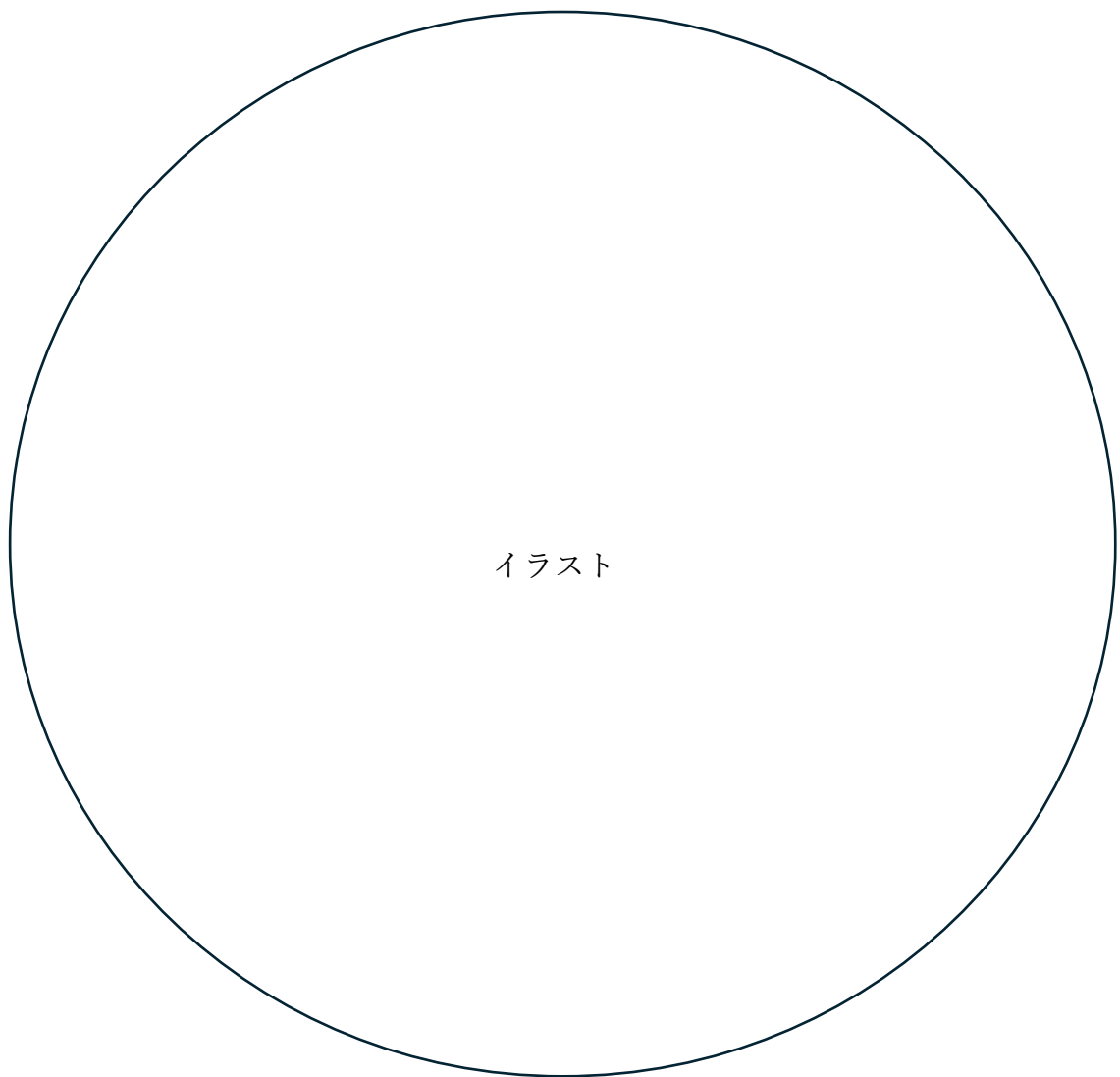
行政の取り組み

- 工業団地の分譲を円滑に進め、立地希望企業に分かりやすく案内します。
- 企業が利用しやすい税制や補助金などの制度を整備・周知します。
- 関係機関と連携し、進出企業が抱える課題に対応できる支援体制をつくります。

みんなで一緒に取り組もう

- 企業進出などにより引っ越してくるか方々を暖かく迎えましょう。

8 起業の促進



いまの姿

- 令和6年度の創業者数は3名と少なく、新しい事業に挑戦する人の数が限られています。事業を始めたいという気持ちはあっても、資金調達や相談先の不足、事業を続けていけるかどうかへの不安から、実際の創業にはつながりにくい状況です。
- 創業セミナーの参加者も10名程度にとどまっており、参加のきっかけづくりや情報発信がまだ十分とはいえません。そのため、地域全体で起業を応援する雰囲気や、互いに学び合い挑戦を後押しする機会が、広く根付いているとはいいがたい状況です。

8年後の姿

まちに新しい店舗や事業所が増え、新たな産業や特産品が生まれ、まちが賑わっています。

成果指標

創業者数

3 人

（令和6年度）



64 人

（令和8～15年度累計）

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 起業を支援します

行政の取り組み

- 起業に関する相談体制を強化し、専門家による相談や伴走支援を行います。
- 創業者向けの補助金や融資制度を整備し、資金面の不安を軽減します。
- 地元金融機関や商工団体と連携し、創業者の資金調達や販路開拓を支援します。

みんなで一緒に取り組もう

- 起業者の新しいサービスや商品を積極的に利用し、応援しましょう。

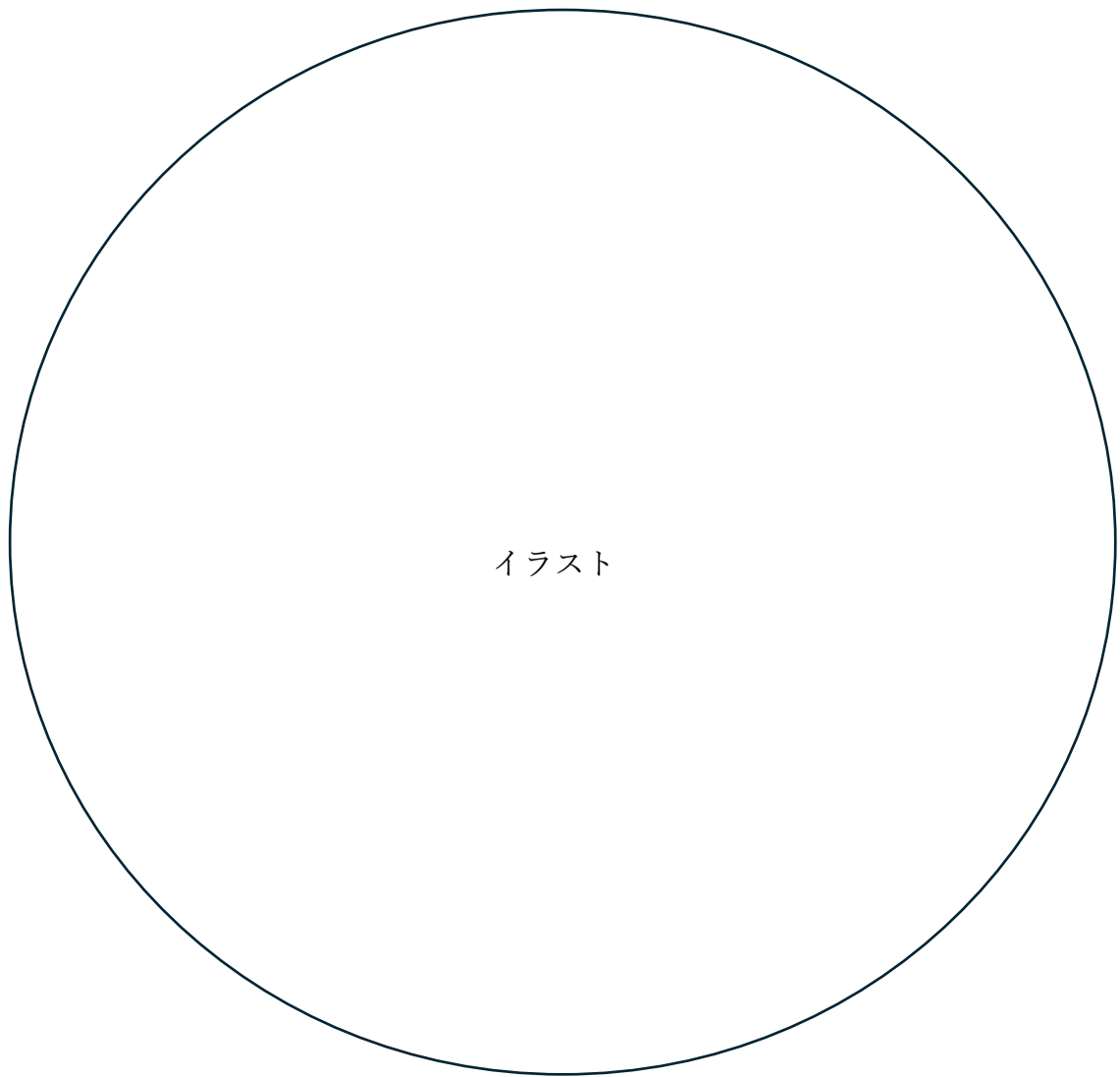
2. 起業家の育成に取り組めます

行政の取り組み

- 創業セミナーを定期的で開催し、知識や技能を習得する機会を提供します。
- オンラインを活用した学習機会を整備し、誰もが学びやすい環境をつくれます。
- 創業者を紹介する広報活動を行い、起業に前向きな雰囲気をつくれます。

みんなで一緒に取り組もう

- 勉強会などに参加して、地域の起業家とつながりを持ちましょう。
- 先輩の起業家・事業者は、後輩の起業家を応援しましょう。



イラスト

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



いまの姿

- 全国的にも知名度の高い別府、由布院から近く、大分空港にもアクセスのよい好立地を生かした周遊プランの造成に取り組んでいます。
- 日出城址周辺、大神海岸線、鹿鳴越連山などは特色ある地域資源でありながら観光資源として着目されることが少なく、高い集客力を持つハーモニーランドに観光客が集中している状態になっています。

8年後の姿

日出町ならではの観光資源が最大限に活かされ、効果的な情報発信により国内外から多くの観光客が訪れています。

成果指標

観光消費額

82億円 → **87億円**
（令和6年度） （令和15年度）

8年間の取り組み

1. 観光資源のブラッシュアップと新たな魅力づくりに取り組みます

行政の取り組み

- 町の豊かな自然環境、歴史・文化資源、食の魅力を活かし、滞在型観光へとつながる体験型コンテンツを創出します。
- 町内の事業者や高校・大学等と連携し、特産品の開発に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- まちの魅力や特色を知り、誇りと愛着を持ちましょう。
- 地域のイベントに積極的に参加しましょう。

2. 効果的に情報を発信します

行政の取り組み

- デジタル技術や SNS を活用した戦略的な情報発信を強化します。
- 国内外に向けたプロモーションを実施し、認知度向上を図ります。
- 多言語に対応した観光パンフレットやホームページ、案内看板等の充実を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- SNS や口コミを通じてまちの魅力を発信しましょう。

3. 持続可能な観光と交流の拠点づくりに取り組みます

行政の取り組み

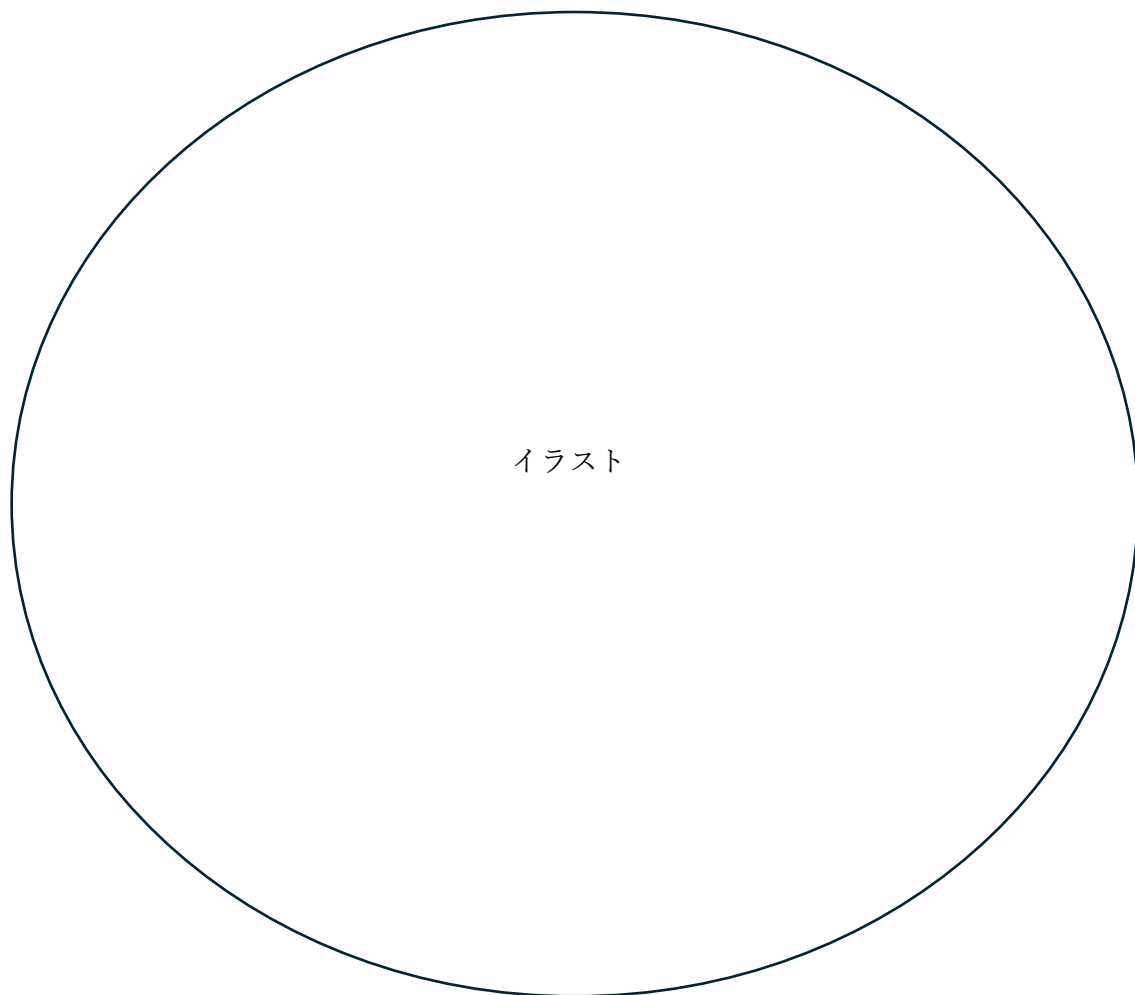
- 多様化する旅行ニーズに対応した受け入れ環境を整備します。
- ひじ町ツーリズム協会と町との役割分担を明確化した上で、ひじ町ツーリズム協会が一元的に施策実施できるよう支援します。
- 観光拠点としての二の丸館の来館者数の増加に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 観光客に「町の案内人」として親切に接し、まちの魅力を伝えましょう。

10

稼げる農業・漁業の推進



イラスト

いまの姿

- 平成15年には900名を超えていた農業従事者数が、現在では半分以下の450名を割り、また、平成15年に1128haであった経営耕地面積も、現在840haと減少するなど、高齢化に伴い、担い手不足や遊休農地の増加が深刻化しています。
- 水産業について、平成15年には121名いた漁協の正組合員が、現在は半分以下の54名まで減少しています。また、担い手不足や温暖化などの海洋環境の変化もあり、漁獲量も減少しています。

8年後の姿

- 農産物の高収益化の推進や、農業に関する情報発信により、農業の担い手が増えています。
- アマモ場の保全活動と種苗放流により、水産資源が増えています。

／ 成果指標 ／

平均所得(農林水産業従事者)

農業 (令和3年度)125万円
水産 (令和6年度)736千円



(令和15年度)200万円
(令和15年度)828千円

8年間の取り組み

1. 農産物の高収益化、経営規模の拡大等により農業所得の向上を図ります

行政の取組

- 農作物の高収益化や6次産業化の推進により、所得増大を図ります。
- 大規模圃場整備等の推進により生産基盤の整備と産地づくりを図ります。
- 農地の集積・集約化、他業種との連携により担い手の確保、人手不足の解消や遊休農地発生の抑制に取り組みます。
- 猟友会等と連携し、有害鳥獣による被害防止に取り組みます。
- ふるさと納税返礼品の発掘と集客イベントへ積極的に参加して、町産品のPRに取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 地産地消や食育のイベントに参加しましょう。
- 農畜産物や体験をSNS等で発信しましょう。
- 農畜産物やその生産現場に目を向けましょう。
- 地元の農畜産物をたくさん食べましょう。

2. 水産資源の増大により、漁業所得の向上を図ります

行政の取組

- 海業の推進により、所得増大を図ります。
- 水産資源の増大のため、マコガレイなどの種苗放流を行います。
- 魚食文化の普及のため、集客イベントへの参加や魚の捌き方教室などを開催します。
- 漁場環境の整備のため、アマモ場の増大と増殖礁の整備、海底耕耘を実施します

みんなで一緒に取り組もう

- 城下かれい祭りなどのイベントで種苗放流を体験してみましょう。
- 魚の捌き方教室に参加しましょう。
- 地元で取れた魚をたくさん食べましょう。

■関連計画

浜の活力再生プラン

■用語解説

6次産業化…一次産業としての農林漁業と、二次産業としての製造業、三次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組

大規模圃場整備…農地の区画を整形して大型化し、用水路・排水路・農道などを一体的に整備すること

農地の集積…農地を所有し又は借入れることなどにより、利用する農地面積を拡大すること

農地の集約化…分散した農地をまとめ、効率的な農作業ができるようにすること

海業…海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用して、地域のにぎわいや所得、雇用を生み出す事業

アマモ場…「海のゆりかご」として魚の幼生や稚魚の育成場となり、産卵場所となっています。

11

コミュニティ機能の強化

イラスト

いまの姿

- 本町には75の自治区(自治会)があり、地域コミュニティを維持していますが、自治区に加入しない住民が年々増えています。また、ライフスタイルの多様化を受け、地域活動への参加者が減少する傾向が見受けられます。
- 自治区の代表(区長)や役員の高齢化に加え、区長・役員のなり手が見つからないことも深刻な問題となっています。これらにより、地域活動を継続できなくなる自治区が今後多く発生することが予想され、地域における人間関係の希薄化が一層進むことが懸念されます。

8年後の姿

まちづくりや住民活動の基本である地域コミュニティ(自治区)を中心に、地域活動が活発に行われています。

成果指標

「直近1年以内に、地区の行事に参加した」と
回答した町民の割合

60.0%

(令和15年度)

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 地域コミュニティの活性化に取り組みます

行政の取り組み

- 地域コミュニティを活性化するため、自治区と区長により組織される区長会の活動を支援します。
- 地域コミュニティの拠点となる、各地区公民館の設備の更新や施設改修による長寿命化を計画的に進めます。

みんなで一緒に取り組もう

- 自治区に加入し、住みよい地域づくりに取り組みましょう。
- 地域の行事・活動に積極的に参加し、地域社会を盛り上げましょう。

2. 協働のまちづくりを推進します

行政の取り組み

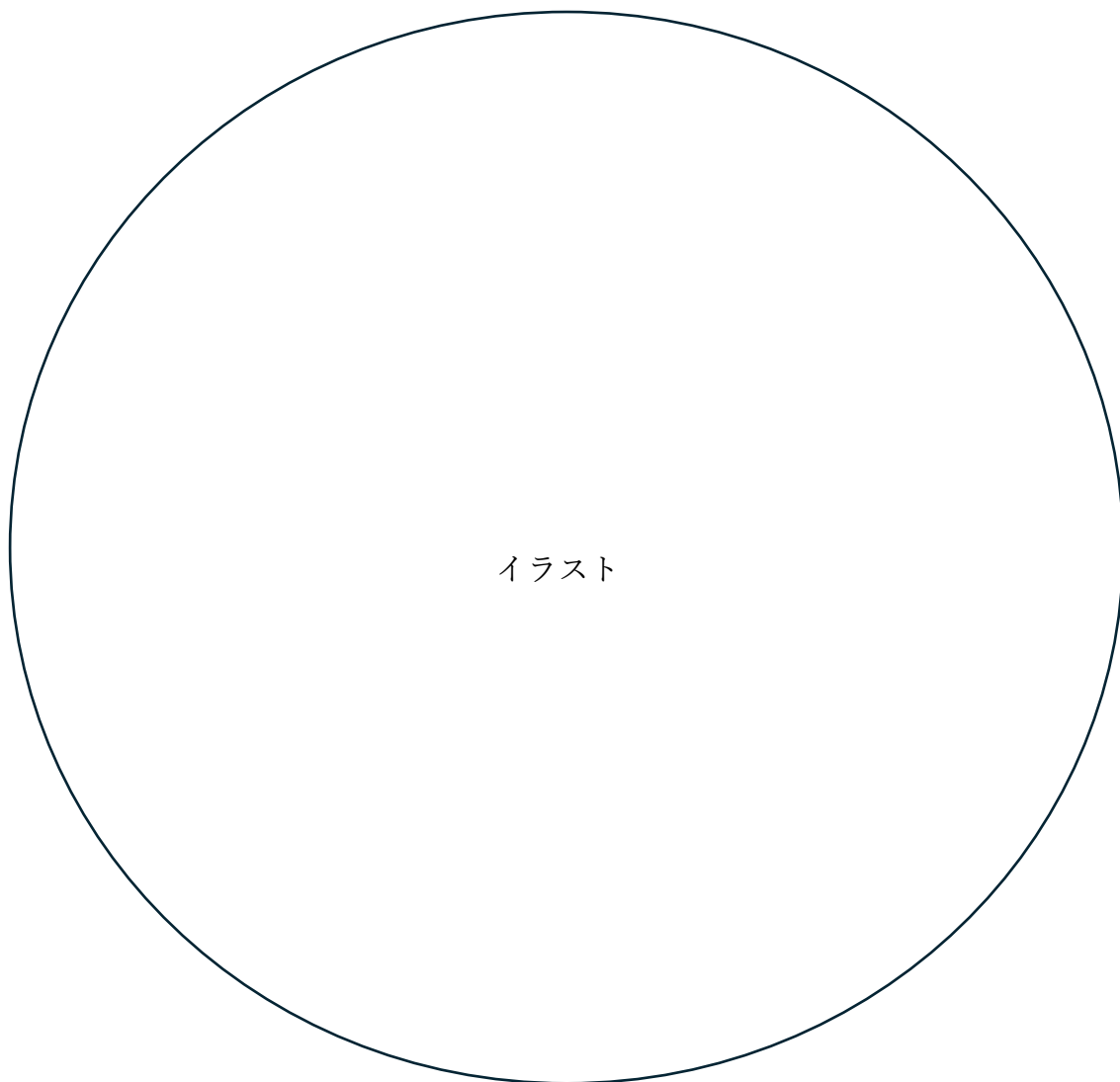
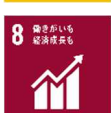
- 特定の活動や目的を基軸として集まった地域活動グループに対し、その活動を支援します。
- 住民、自治区、各種団体、民間企業等と協働し、地域課題の解決に自主的に取り組む団体等を支援する仕組みづくりを進めます。

みんなで一緒に取り組もう

- 地域課題について、地域の皆で話し合い、一緒に解決に取り組みましょう。

12

地球に優しい環境づくり



イラスト

いまの姿

- 日出町の再生可能エネルギーの導入容量は、近年大きく伸びているが、森林を伐採したメガソーラー発電設備の開発によるところが大きい。一方で、住宅地や工場用地等において小中規模な太陽光発電設備の設置可能なエリアも多数存在している。
- 温暖な気候と青い海、緑の山、きれいな湧水など豊かな自然を子どもたちに繋ぎ、未来も安心して豊かに暮らせる脱炭素社会を実現するために、令和6年12月に『日出町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)』を策定し、2050年までに町域の温室効果ガス(二酸化炭素)排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言しました。

8年後の姿

再生可能エネルギー施設とまちの豊かな自然との調和がとれた環境の中で、住民の環境問題に対する意識が高まっています。

成果指標

二酸化炭素排出量

335 千 t-CO₂ → 189 千 t-CO₂

(令和4年度)

(令和13年度)

8年間の取り組み

1. 再生可能エネルギーの利用を促進します

行政の取り組み

- 再生可能エネルギー設備の導入に当たっては、生活環境、景観その他自然環境に十分配慮し、地域住民の理解を得た上で、実施するよう指導します。
- 家庭や事業所向け太陽光発電設備等について、自家消費を促進します。

みんなで一緒に取り組もう

- 住宅の新築の際などには、自家消費型の太陽光発電設備や蓄電池の導入を検討しましょう。
- 電気契約は、再生可能エネルギー由来のものを選択しましょう。

2. 省エネルギー対策を推進します

行政の取り組み

- 公共施設の設備更新の際は、省エネルギー効果の高い設備へと更新します。
- 公共施設への自家消費型太陽光発電設備等の設置に取り組みます。
- 住民や事業者の省エネ対策を促進するため、SNSの活用等による効果的な情報発信に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

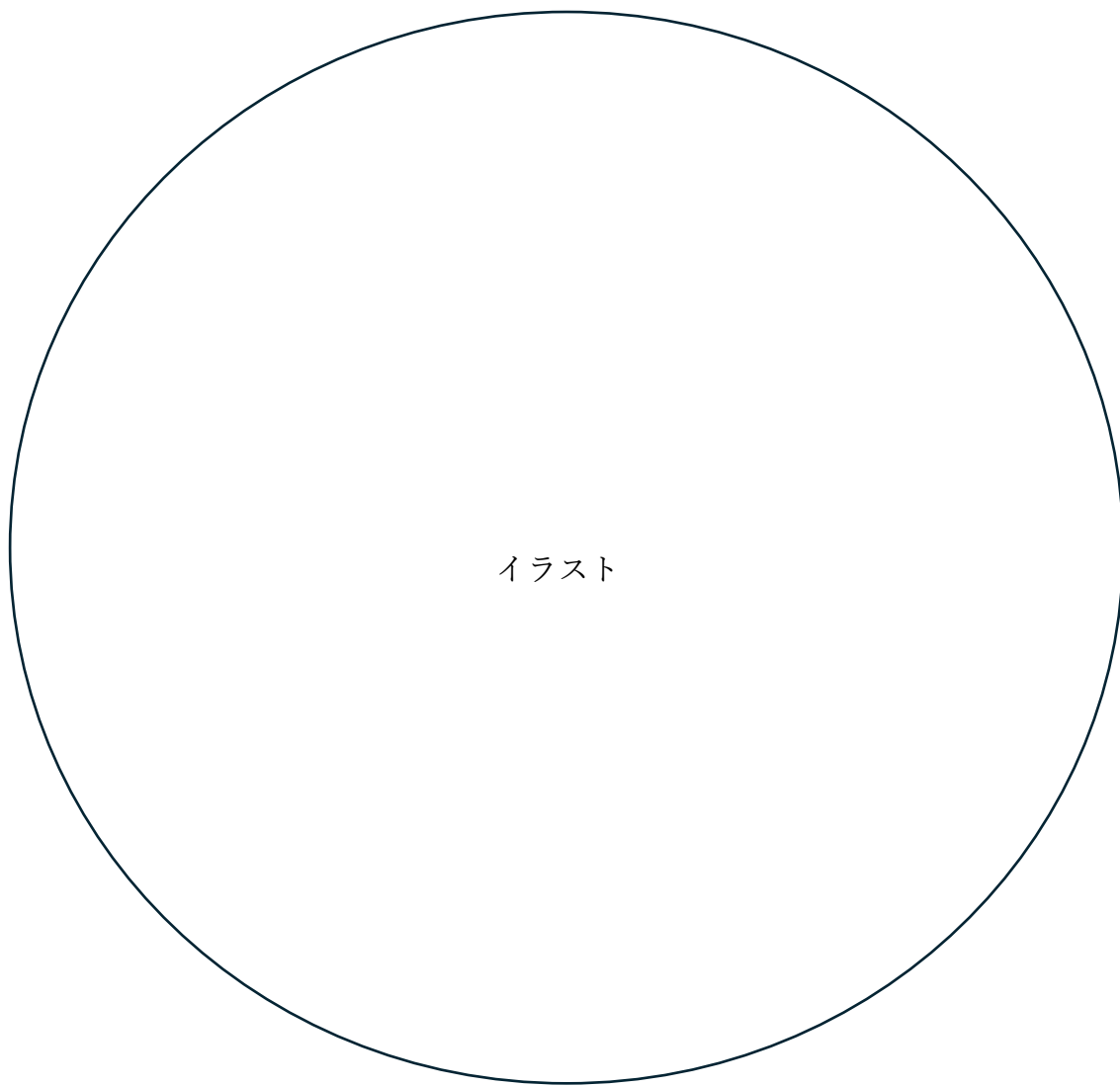
- 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動『デコ活～くらしの中のエコロがけ～』に取り組みましょう。

■関連計画 日出町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)、日出町 SDGs 未来都市計画

■用語解説 デコ活…二酸化炭素を減らす脱炭素（Decarbonization）と、環境に良いエコ（ECO）を含む“デコ”と活動・生活を組み合わせた新しい言葉で、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動のこと。まずは、【で】電気も省エネ断熱住宅【こ】こだわる楽しさエコグッズ【か】感謝の心食べ残しゼロ【つ】つながるオフィステレワーク から始めてみましょう。

13

誰もが住みやすい環境づくり



イラスト

いまの姿

- これまで町民、事業者及び行政が連携して様々なごみの減量やリサイクルに取り組んでいます
が、依然として大量生産・大量消費・大量廃棄型の線形経済は変わっていません。町内だけで
はない地球規模の環境問題に向き合っていくためには、循環経済への移行を推進し、持続可
能な地域と社会づくりなどの取組みを一層強化する必要があります。
- 「ごみ収集日程表」や「資源とごみの分け方・出し方」などごみの適切な分別方法についての啓
発を行っていますが、不適正排出や不法投棄などの通報が多く寄せられています。

8年後の姿

快適な生活環境を維持するため、住民・事業者・行政がそれぞれの役割を認識し、自主的かつ積極的に行動しています。

成果指標

町民 1 人あたりの家庭ごみ排出量

503g/人/日 → 478g/人/日

（令和6年度）

（令和15年度）

8年間の取り組み

1. 資源を大切にし、持続可能なまちをつくります

行政の取り組み

- リユースやリサイクルに取り組みやすいよう事業者と連携した取組を積極的に行います。
- 住民の自主的な行動に結びつきやすいようターゲットを明確にした広報活動に取り組みます。
- プラスチックを資源として分別・回収・処理できるよう構成市（別府市・杵築市）と連携して取り組んでいきます。

みんなと一緒に取り組もう

- ごみを正しく分別しましょう。
- 3R（リデュース・リユース・リサイクル）運動に加え、リニューアブル品の選択、食品ロスの削減などに関心を持ち、ごみの排出抑制や減量化に努めましょう。

2. 快適な生活環境を守ります

行政の取り組み

- ごみの不適正排出については指導するとともに、地域特性等を踏まえて問題解決を図ります。
- 関係団体と連携し、不法投棄防止のための看板設置やパトロール等により監視体制を強化します。
- 不法焼却（野焼き）の苦情に対して、指導を強化していきます。
- 動物が人の生活環境に悪影響を与えないように、関係機関と連携し、指導等に取り組んでいきます。

みんなと一緒に取り組もう

- 地域の清掃活動などに積極的に参加しましょう。
- 草刈りなどにより所有する土地をきれいに保ち、隣近所に迷惑をかけないようにしましょう。
- 動物は正しい知識と責任を持って飼いましょう。

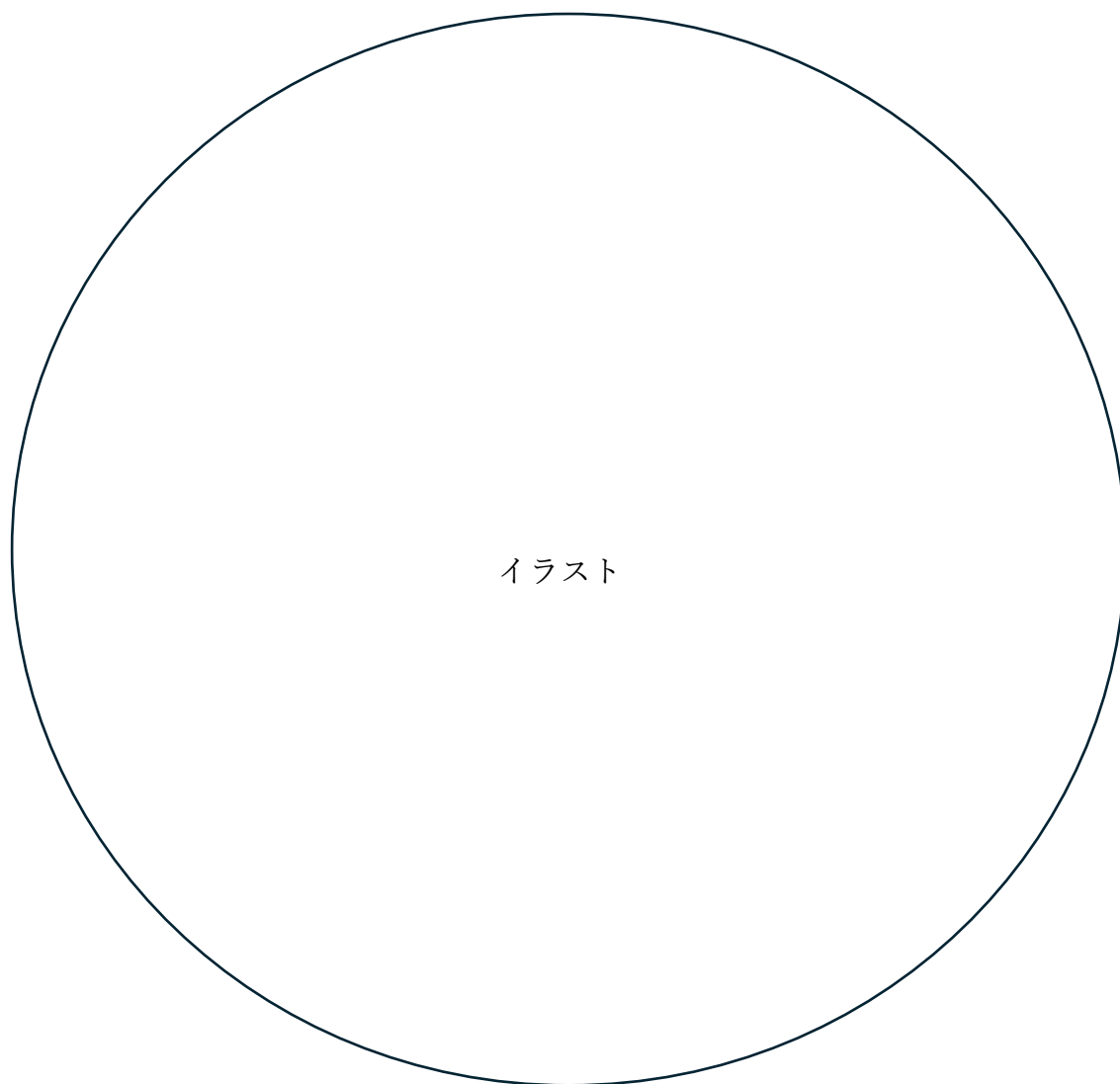
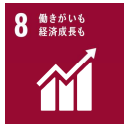
■関連計画 日出町一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（後期計画）

■用語解説 3R…リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）

リニューアブル…再生可能資源への代替を行うこと。（例：バイオマスプラスチックへの転換）

14

障がい者福祉の充実



イラスト

いまの姿

- 本町における障がい者手帳の所持者は、令和 2 年度以降 1,800 人前後で推移しており、本町人口に占める割合は、令和 7 年 4 月 1 日現在で 6.64%となっています。手帳の種類では、身体障害者手帳所持者は減少しており、療育・精神手帳所持者は増加しています。
- 支援が必要な児童が増加し、個々の児童やその家族の状況やニーズに応じたきめ細かい対応が求められます。
- 今後、障がいのある人の高齢化が進み、親なきあとも障がいがある人が地域で安心して生活していくための対策が求められます。

8年後の姿

障がい者が住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし、地域社会の一員となっています。

成果指標

一般就労移行者および新規就労継続支援利用者数

40 人 → 50 人
(令和6年度) (令和15年度)

8年間の取り組み

1. 障がい者とその家族に対する相談支援の充実を図ります

行政の取り組み

- 障がい福祉の自立支援・生活支援が多様化する中、障がいに応じたサービスが適切に提供できるように相談支援の充実を図ります。
- 障がい児等に対して、地域の保健、障がい福祉、保育、教育等の関係者と連携し、切れ目のない支援体制を構築します。

みんなで一緒に取り組もう

- 不安なことがあったら、行政や専門機関へ相談しましょう。
- 地域のつながりを大切にし、困ったときはお互いに支え合いましょう。

2. 一人ひとりにあった就労・社会参加支援の充実を図ります

行政の取り組み

- 障がい者本人が就労先や働き方について、より良い選択ができるよう支援します。
- 障がい者の権利を守るため、障がい特性に関する啓発を行います。
- 障がい者就労施設等からの優先調達への取組を推進します。

みんなで一緒に取り組もう

- さまざまな障がいについて理解を深めましょう。
- 障がいのある方が働きやすい職場環境をつくりましょう。

3. 住み続けられる地域づくりに取り組みます

行政の取り組み

- 地域生活へ移行するための体験の場の提供や、緊急時の受入体制の整備を行います。
- 日出町自立支援協議会を中心に、地域の関係者全体で地域課題の解決を目指します。
- 「親なきあと」に備え、障がい者のご家族等に対する相談支援を行います。

みんなで一緒に取り組もう

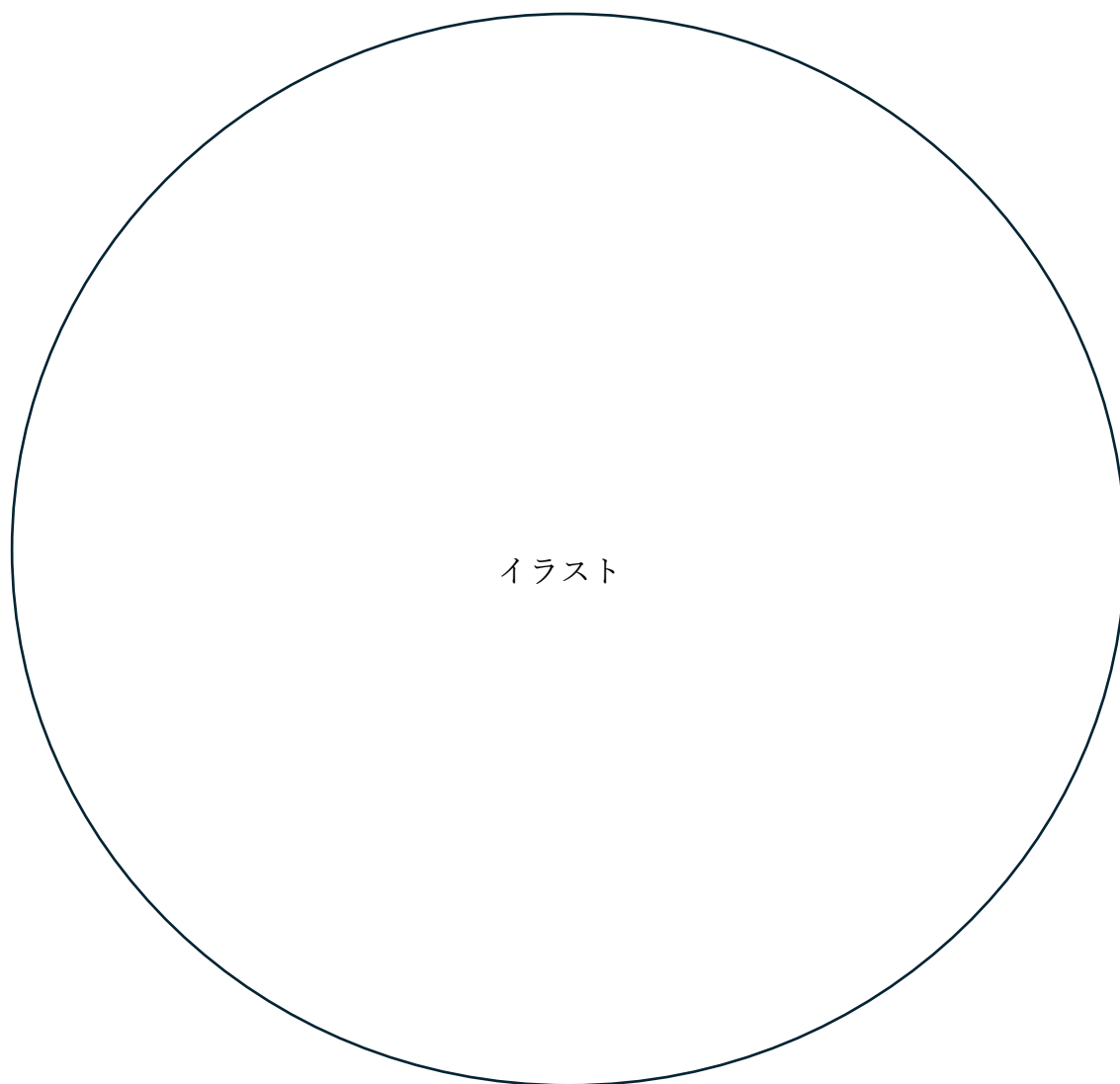
- 障がいの有無にかかわらず、相手の個性や多様性を尊重しましょう。

■関連計画 ■用語解説

日出町障がい福祉計画、日出町障がい児福祉計画、日出町障がい者計画、日出町地域福祉計画等優先調達…国や地方公共団体等が、物品等の調達に当たって、障害者就労施設等から優先的に調達するよう努めること。
自立支援協議会…地域の関係者が集まり、地域における課題を共有し、その課題を踏まえて、地域のサービス基盤の整備を進めていくこと及び関係機関等の連携の緊密化を図る役割を担っています。

15

高齢者福祉の充実



イラスト

いまの姿

- 町の65歳以上の老年人口は増加傾向にある一方、14歳以下の年少人口、15歳～64歳の生産年齢人口はそれぞれ減少傾向にあり、高齢化率は、着実に上昇しています。今後、この傾向はますます顕著になり、人口減少と少子高齢化が進行していくと見込まれています。
- 町の高齢化率は大分県内でも低い水準で推移してきたため、高齢者人口のピークは近隣市町村よりも遅く、2045年(令和27年)ごろになると見込まれます。
- 高齢者人口の増加に伴い、高齢者単身世帯や高齢者のみ世帯も増加しています。家族等から日常的に、介護や生活支援を受けることが困難と思われる高齢者が増加しています。

8年後の姿

高齢者が住み慣れた地域でともに支え合い いつまでも健やかにいきいきと暮らしています。

成果指標

75 歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない方の割合

75.5% → 73.0%

(令和6年度) (令和15年度)

3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



8年間の取り組み

1. 地域全体で高齢者支援に取り組みます

行政の取り組み

- 地域貢献や就業等を通して高齢者が社会参加できる機会を充実させます。
- 高齢者が地域づくりの担い手として活躍できるよう支援します
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、在宅医療・介護連携の推進や、地域や関係機関による生活支援体制の充実を図ります

みんなで一緒に取り組もう

- 住民同士で声を掛け合って高齢者を支えあいましょう。
- 年齢を気にせず積極的に地域の活動に参加しましょう。

2. 健康と長寿を両立する取り組みを推進します

行政の取り組み

- 介護予防を推進する人材を育成するとともに、介護予防活動を行う団体を支援します。
- 健康講和などを通じて、介護予防や健康づくりに対する町民意識の醸成を図ります。
- 介護予防の現場に、リハビリテーション専門職等が支援に入る機会を増やします。

みんなで一緒に取り組もう

- 通いの場（高齢者サロン）に積極的に参加し、体操や交流などを楽しみましょう。

3. 介護保険事業の円滑な運営に取り組みます

行政の取り組み

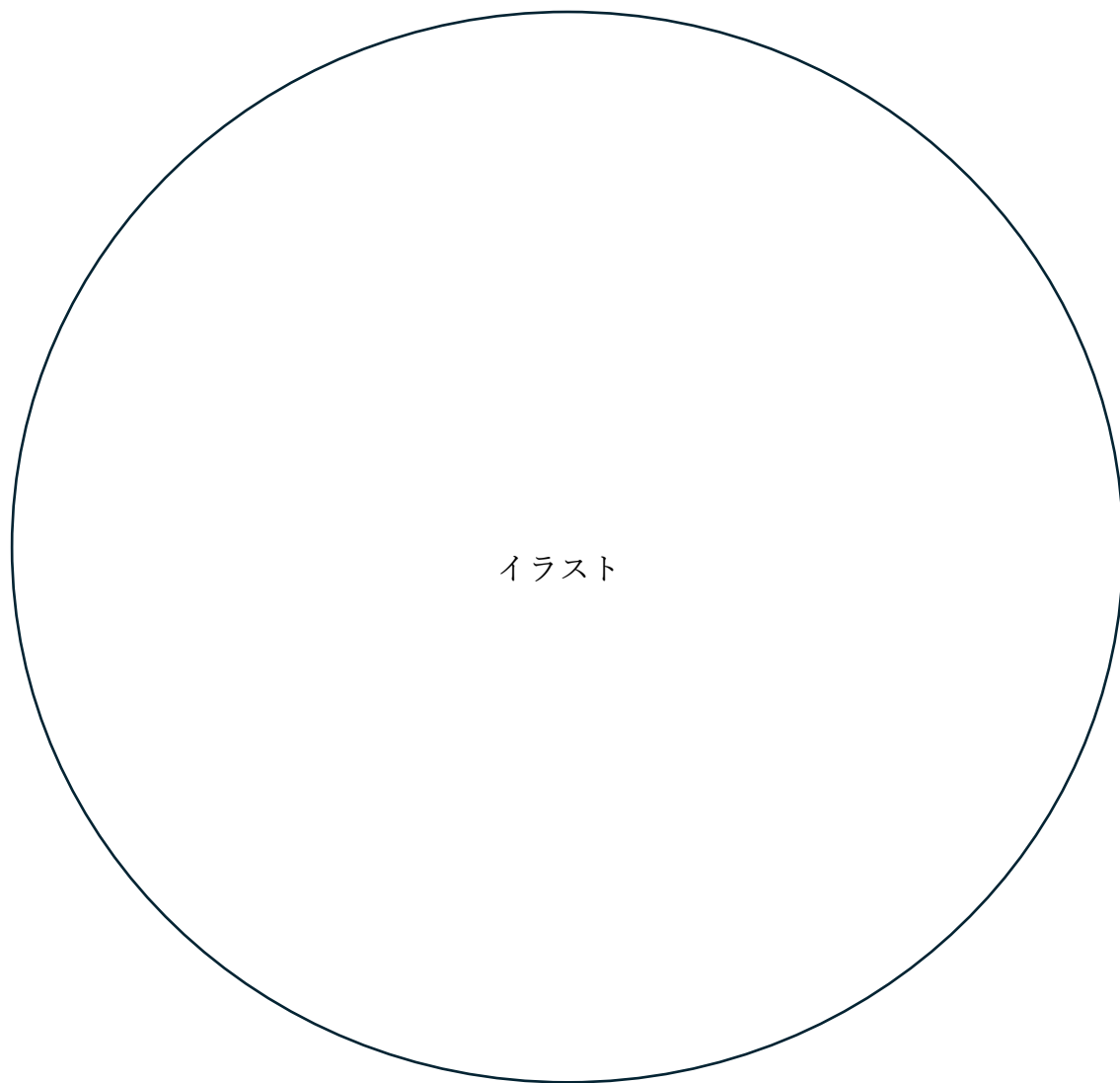
- 持続可能な介護保険制度として運営していくために、介護給付等の適正化に取り組みます。
- 事業者への支援として、介護人材の育成・確保やインターネット等を活用した介護現場の負担軽減に取り組みます。
- 利用者への支援として、相談・苦情受付体制の充実や、低所得者の負担軽減などに取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 必要な時に必要なサービスを正しく利用していきましょう。

16

子育て環境の充実



イラスト

いまの姿

- 出生数は、平成29年以降200人台で推移していましたが、令和4年に163人に減少しています。その後、令和5年は213人と増加しましたが、令和6年は183人となり減少に転じています。
- 子育て家庭の母親のフルタイムでの就労傾向が高まっており、小学校就学後の放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ」の利用意向が高くなっています。育児休業を取得した父親の割合は令和6年の調査では14%となっており、低い状況です。
- こどもの貧困について社会的関心が高まっており、特にひとり親家庭では、経済的な面だけでなく、教育の支援、生活の安定に資するための支援、保護者の就労支援を進める必要があります。

8年後の姿

「子育てをするならやっぱり日出町」と認知され、まちに住み続ける子育て世帯が増えています。

成果指標

0～15歳の住民数

3,797 人 → 3,850 人

（令和6年度）

（令和15年度）

8年間の取り組み

1. 子育て世帯が住み続けたいとなる環境を整備します

行政の取り組み

- 子育て支援（医療費助成や給食費・保育料の無償化）の拡充に取り組みます。
- 事業所に対するワークバランスの啓発等、社会全体で子育て世帯向けの雇用環境を整備します。

みんなで一緒に取り組もう

- SNS等で日出町の住みやすさを発信しましょう。
- 地域の子育てイベントに参加しましょう

2. 妊娠期から学齢期まで切れ目のない支援に取り組みます

行政の取り組み

- 子育てで困ったときにいつでも相談できる窓口を整備します。
- 多様化する相談について、関係機関と連携し、解決に向け支援します。
- デジタル・ICTを活用し、安心して子育てできる環境を整備します。

みんなで一緒に取り組もう

- 子育てで悩んだ時はいつでも相談しましょう。
- 必要な支援サービスを積極的に利用しましょう。

3. すべてのこどもが安心して過ごせる居場所づくりに取り組みます

行政の取り組み

- 放課後・長期休暇中のこどもの居場所についてニーズを調査し、整備に取り組みます。
- 子育て支援センター・放課後こども教室などについても、さらに利用しやすい環境を整えます。

みんなで一緒に取り組もう

- こどもが安心して過ごせる居場所づくりを一緒に考えましょう
- 安心して過ごせるこどもの「居場所」を地域に広げていきましょう。

17

健康づくりの推進

イラスト

いまの姿

- 食生活や運動等の生活習慣の変化により、生活習慣病の有病率は増加傾向にあり、がん・心疾患・脳血管疾患などの生活習慣病に関連した死亡が44.8%を占めています。
- 健康づくりは、個人の取組と健康を支援する環境づくりが重要ですが、コロナ禍以降に人とのつながりが希薄化するなど、健康づくりを継続するための環境整備と格差が大きな課題となっています。
- 平均寿命とお達者年齢の差からみた日常生活動作が自立していない期間については、男性は1.43年、女性は2.82年ですが、今後高齢化率が上がることに伴い、自立していない期間が長くなることが予想されます。

8年後の姿

健康づくりに取り組むやすい環境が整備され、健康に関心を持つ人が増え、住民が主体的に健康づくりに取り組んでいます。

成果指標

健康寿命（お達者年齢）

男性80.72歳

男性81.75歳

女性84.40歳

女性85.12歳

（平成30～令和4年平均）

（令和9～13年平均）



8年間の取り組み

1. 疾病予防に取り組みます

行政の取り組み

- 生活習慣病の予防のために、自身の健康を把握したり生活習慣の改善を自主的に行えるよう支援します。
- 健康づくりが自然とできるような環境整備を推進します。
- 感染症予防について、普及啓発や相談体制の充実を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 健康診査やがん検診は毎年必ず受診しましょう。
- 健康教室等へ積極的に参加しましょう。
- 正しい感染症予防対策を知り、日ごろから実行しましょう。

2. 地域に根差した健康づくりに取り組みます

行政の取り組み

- 健康づくり推進員の活動が認知され、地域ぐるみで健康づくりの輪が広がるよう支援します。
- 食生活改善推進員や健康運動普及推進員の養成と共に、食育の推進、運動の定着などの活動について支援します。
- 地域で開催される高齢者等のサロンや、各種団体や事業所等への健康教育を通して健康づくりを支援します。

みんなで一緒に取り組もう

- 健康づくりのイベントに積極的に参加しましょう。
- 仲間づくりも兼ねて、健康づくりに関するボランティア活動に参加しましょう。
- 共食や健康につながる食事を積極的に取り入れましょう。

3. 関係機関とのネットワークの構築を図ります

行政の取り組み

- 医療機関や事業所等、他の関係団体と連携を図りながら健康課題に取り組みます。
- 健康に寄与する食の提供等の食環境づくりを関係者と一緒に取り組みます。
- 自殺予防について、様々な分野での施策に取り組むとともに、住民や組織が密接に連携をして、対策を講じます。

みんなで一緒に取り組もう

- 職場や地域で呼びかけ合い、健診受診や運動の機会をつくりましょう。
- 食に関する適切な情報を活用しましょう。
- 身近な人の悩みに耳を傾けて、必要な時には相談機関につなげましょう。

■関連計画 ■用語解説

日出町いきいき健康プラン

お達者年齢・・・大分県が独自で設定している補完指標で、「日常生活動作が自立している期間の平均」をいい、介護保険の要介護度2未満を健康とすると定義しています。
フレイル・・・加齢とともに、体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった、健康と要介護の間の虚弱な状態のことです。

18

道路・公園等インフラの整備

イラスト

いまの姿

- 町内の幹線道路の改良や生活道路の拡幅及び舗装の更新等を、計画的に進めています。
- 町道利用者の安全確保のため、カーブミラーやガードレール等の交通安全施設の整備を進めています。
- 公園は住民の憩いの場として整備しており、観光資源としても活用されています。さらに、災害時の避難場所としても利用できるよう整備を進めています。

8年後の姿

道路・公園等インフラの整備を進めることで、住宅地が増え、企業の進出が進み、地域が活性化しています。

成果指標

道路改良率

65.0%

（令和6年度）



74.0%

（令和15年度）



8年間の取り組み

1. 道路インフラの整備を推進します

行政の取り組み

- 町内の各路線において関係機関と連携した道路整備を行ない、交通の円滑化を図ります。
- 交通安全施設の整備を行ない、歩行者や通行車両の安全を確保します。
- 災害対応、ユニバーサルデザインなど様々な視点を取り入れた道路整備に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 道路の危険箇所を見つけたら、役場に知らせましょう。
- 道路沿いの土地はきれいに管理しておきましょう。

2. 公園インフラの整備を推進します

行政の取り組み

- 住民の憩いの場として、公園の新設や既存施設の充実を図ります。
- 公園の整備等で民間の資金やアイデアを活用し、持続可能な施設整備を目指します。
- 公園を避難所として利用できるように整備し、災害時の緊急対応体制を整えます。

みんなで一緒に取り組もう

- 公園はきれいに正しく使いましょう。
- 公園に関するアンケートなどには積極的に応えましょう。

3. 維持管理の適正化に取り組みます

行政の取り組み

- インフラの長寿命化計画を策定し、優先順位に基づき適正に維持管理を進めます。
- 法令等に基づく定期点検を行ない、各施設のデータを維持管理に反映させます。
- 計画的に維持管理を進めることで、安全を確保しながらコスト削減を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 住民、民間、行政の役割を意識しながら、まちのインフラを協働して守っていきましょう。

■関連計画 日出町都市計画マスタープラン

■用語解説 ユニバーサルデザイン(UD)・・・年齢、性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが利用しやすいように、はじめから設計・デザインする考え方

19

防災・防犯の推進

イラスト

いまの姿

- 近年、全国各地で台風や大雨による風水害・土砂災害が頻発化しています。また、最大震度7と予測される南海トラフ地震の発生確率も高まる中、甚大な被害をもたらす大規模自然災害に対応できるまちづくりが求められています。
- 杵築速見消防組合と日出町消防団を中心に、消火・火災予防活動に取り組んでいますが、消防施設の老朽化や消防団員の減少・高齢化等による地域消防力の低下が懸念されます。
- 多様化・巧妙化する犯罪、悪質商法による消費者トラブル、交通事故等について、地域・杵築日出警察署及び関係団体と連携し、各種啓発や見守り活動等の取り組みを行っています。

8年後の姿

災害・火事・犯罪・交通事故などへの対策が進み、住民が安心して生活を送っています。

／ 成果指標 ／

安心・安全なまちに対する町民満足度

90.4%

（令和6年度）



95.0%

（令和15年度）



8年間の取り組み

1. 「自助・共助・公助」により防災・減災の取り組みを進めます

行政の取り組み

- 避難所環境の改善や備蓄物資の充実等、被災者へのきめ細やかな対応に取り組みます。
- 情報伝達や災害時要配慮者への支援等、逃げ遅れによる被害者ゼロに取り組みます
- 地区防災計画の策定等、自助・共助による防災力向上に資する活動の支援に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 防災備蓄品の整備や家族で避難行動を確認する等、「自助」による防災力を高めましょう。
- 地区防災計画の策定や避難訓練の実施等、地域で「共助」による防災力を高めましょう。

2. 消防・救急体制の充実に取り組みます

行政の取り組み

- 消防・救急業務を担う杵築速見消防組合の管理運営を杵築市と連携して進めます。
- 消防団や地域での火災予防活動等により、「無火災のまちづくり」を進めます。
- 消防団の車両や装備品の充実を図るとともに消防団員の技能向上と人員確保を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 地域で火災予防活動や消火訓練を行いましょう。
- 消防団への理解と協力を深めましょう。
- 消防団員に関心のある人は役場に相談しましょう。

3. 犯罪・交通事故の抑制とその被害者支援に取り組みます

行政の取り組み

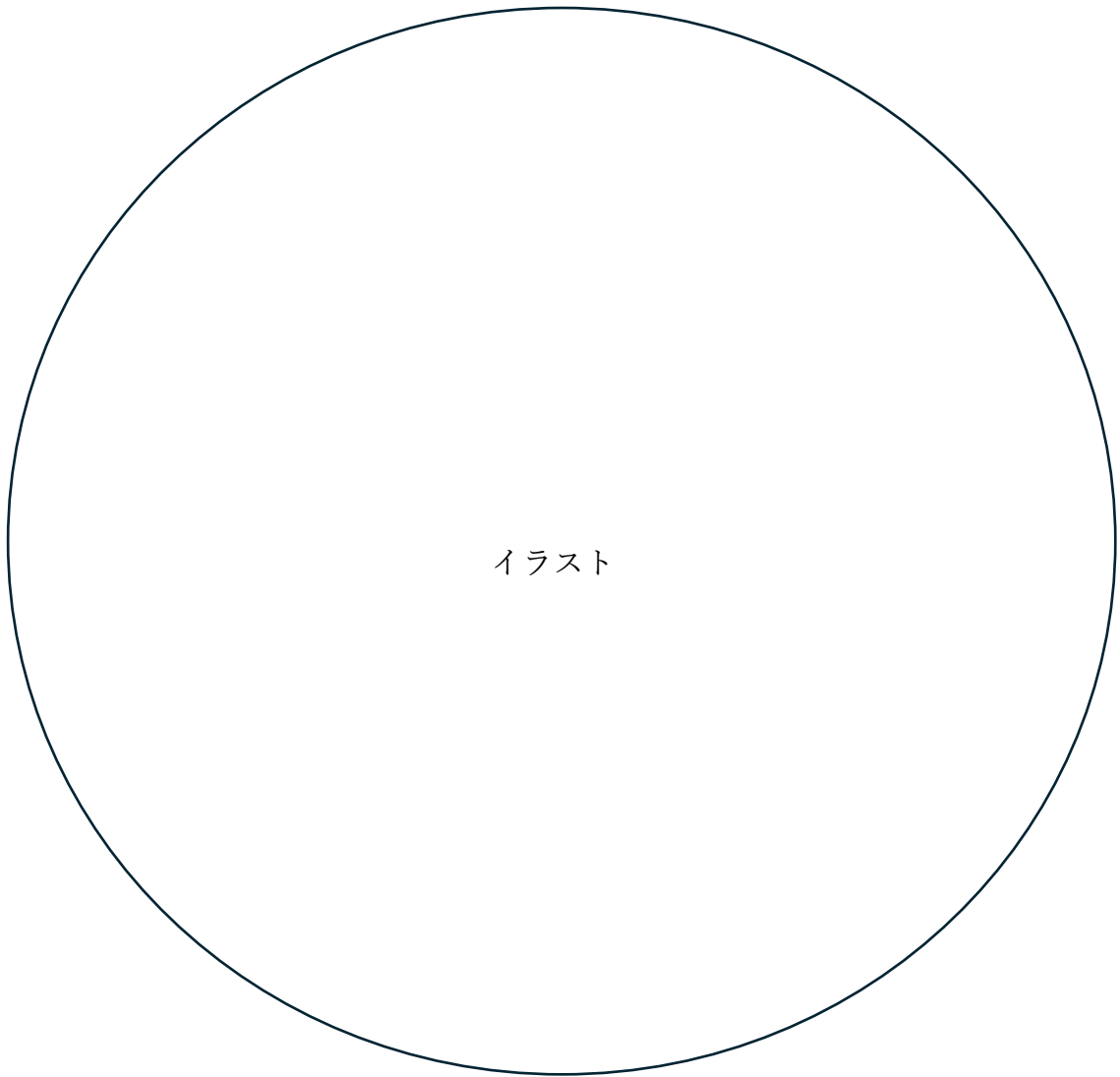
- 警察や関係機関と連携した広報啓発活動により防犯・交通安全意識の高揚を図るとともに、地域で活動する団体の支援を行います。
- 犯罪、交通事故や消費者トラブルに関する相談窓口と事件・事故の被害者への支援の充実を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 日頃から防犯情報を注意し、被害に遭わないよう、防犯意識を高めましょう。
- 交通事故に「遭わない、起こさない」を目標に交通ルールを守りましょう。
- 被害に遭っても一人で悩まず、相談しましょう。

20

上水道の整備



イラスト

いまの姿

- 水道水を湧水と深井戸水のための自然の水で賄っています。
- 配水能力に問題はありませんが、管路を含めた送配水施設の経年化・老朽化が進んでいます
- 地震等の災害対策の重要性が高まる中、水道施設の効率的かつ速やかな更新・耐震化が必要となっています

8年後の姿

- 水道施設が計画的に更新され、安くて美味しい水道水が安定して供給されています。

成果指標

上水道有収率

81%

(H27～R6 平均)



85%

(令和15年度)

6 安全な水とトイレを世界中に



11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナースhipで目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. いつでも安全で良質な水道水を供給します

行政の取り組み

- 水源地や水道施設を常に監視し、水道水の供給が止まることがないように取り組みます。
- 法定の検査項目以外にも必要とされる源水検査は迅速に実施し、安全な水道水を供給します。
- 老朽化した水道施設の計画的な更新に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 節水を心がけましょう。
- 水道水に異変を感じたら、すぐに役場に連絡しましょう。

2. 安定した水道事業を行うため経営改善を図ります

行政の取り組み

- 計画的な水道管の改修・修繕を行い有収率の向上に取り組みます。
- 水道事業経営戦略を随時見直し、健全で持続可能な経営を推進します。

みんなで一緒に取り組もう

- 道路からの水漏れに気づいた時は、すぐに町に連絡しましょう。
- 水道料金は納期内に納めましょう。

21

生活排水処理施設の整備

イラスト

いまの姿

- 下水道事業が始まり30年が経過し、施設の老朽化に伴う改修等の維持管理費用が増大することが課題となっています。
- 新規整備のための財源の不足や人口減少に伴い、整備対象区域の見直しが課題となっています。
- 多角的な経営分析を行い、現実的かつ戦略的な下水道事業の運営が必要となっています。

8年後の姿

- 生活排水が下水道や合併処理浄化槽によって適正に処理され、美しい海や川が保たれています。

成果指標

生活排水処理率

82%

（令和6年度）



88%

（令和15年度）

6 安全な水とトイレ
を世界中に



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナシップで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 生活排水処理施設の整備を図ります

行政の取り組み

- 効果的・効率的な下水道整備を進め、環境保全を推進します。
- 老朽化した施設の更新、耐震化を進めます。
- 下水道区域外では、合併浄化槽設置の促進を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 下水道への接続または合併浄化槽を設置しましょう。
- 生活排水を流す時は、ルールを守って正しく流しましょう。

2. 健全な下水道事業を行うため経営改善に取り組めます

行政の取り組み

- 下水道経営戦略を随時見直し、健全な経営を推進します。
- 広域化や民間活力の導入を検討し、持続可能な運営に取り組めます。
- 生活排水処理の必要性をPRし、下水道接続率や生活排水水洗化率などの向上を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 下水道等の仕組みや必要性を理解しましょう。
- 下水道使用料等は納期内に納めましょう。

■関連計画 日出町下水道経営戦略、日出町公共下水道ストックマネジメント計画 等

■用語解説 生活排水処理率…生活から出る排水が、下水道、浄化槽などの施設で適正に処理されている人口の割合。この割合が高いほど川や海などの水質が改善し衛生的な生活環境が維持されます。

$$(\text{公共下水道・集落排水事業区域内人口} + \text{区域外合併浄化槽処理人口}) \div \text{行政区域内人口}$$

イラスト

いまの姿

- コロナ禍後、対面での人権フェスティバルや人権講座での人権講演会を再開しており、参加人数は回復傾向にあります。
- 令和6年度には、日出町人権・部落差別解消保育連絡会に加入する保育所で、9施設 123 名が参加する研修などを実施しました。
- 日出町の企業、事業所、各種団体を網羅した組織(人権ネットワーク)の構築がまだできていません。

8年後の姿

町民一人ひとりが人権意識を高め、偏見や差別を持つことなく、お互いを認め合って暮らしています。

成果指標

人権研修・イベント等の参加者数

1,113 人 → 1,500 人
(令和6年度) (令和15年度)

1 貧困をなくそう



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



8 働きがいも経済成長も



10 人や国の不平等をなくそう



16 平和と公正をすべての人に



8年間の取り組み

1. 人権に対する正しい知識と理解を深める取り組みを推進します

行政の取り組み

- 多様な媒体で、講演会などの周知の充実を図ります。
- 部落差別をはじめ、女性、こども、障がい者、高齢者、外国人など多様な人権問題の解決に向けて、正しい知識を身につける多様な機会を提供します。

みんなで一緒に取り組もう

- 人権に関する講演会やイベントなどに、家族や友人と一緒に積極的に参加しましょう。
- 人権に関心を持ち、相手のことを考えて行動するようにしましょう。

2. 各種団体、事業所との連携を強化します

行政の取り組み

- 町内の各種団体、事業所を訪問して、人権尊重の理念を企業活動や日常生活に定着させます。
- 人権ネットワークの構築を推進します。
- 講師派遣や研修資料の提供など、各種団体、事業所の人権研修を支援します。

みんなで一緒に取り組もう

- 各種団体や事業所でもそれぞれ研修会を実施しましょう。
- 各種団体や事業所の中でも、人権イベントや講演会などに参加するよう呼びかけましょう。

23

教育環境の充実

イラスト

いまの姿

- 学校施設は、多くが昭和50年代に整備されたことから、8割が築30年以上を経過し、7割が築40年以上を経過しています。しかし、学校施設の老朽化対策には、多額の費用を要するため、集中的に行うことが困難な状況となっています。
- 令和2年に日出町学校施設長寿命化計画を策定し、学校施設の長寿命化改修を計画的に整備することとしています。しかし、翌令和3年下半期から始まった物価高騰の影響を受けていることから、国からの財政的支援を活用するなどの効率的な計画の実現が必要となっています。
- また、学校施設は、昔の基準で建築されていることから、バリアフリー化、ICT化、防災・防犯機能強化、脱炭素化といった新しい時代が求める教育環境が十分ではありません。
- 多様な子どもたちのニーズや、デジタル技術を取り入れた学習への対応といった新時代の学びを支える安全・安心な施設・設備の整備が必要となっています。
- 給食センターは令和3年に新築され、変わらずおいしい給食が提供されています。

8年後の姿

多様なニーズに対応する多角的な視点を持った老朽化対策に取り組むことにより、新しい時代に対応した学校で子どもたちが学んでいます。

成果指標

長寿命化実施率(学校施設)

0校
(令和6年度)



3校
(令和15年度)



8年間の取り組み

1. 学校施設の長寿命化に取り組めます

行政の取り組み

- 学習環境と安全性を重視し、学校活動に支障のない長寿命化改修を行います。
- 長寿命化改修の内容や進捗状況などの情報を分かりやすく発信します。

みんなで一緒に取り組もう

- 学校の施設は大切に使いましょう。
- 長寿命化改修における子どもたちの安全確保のため見守りと協力をしましょう。

2. 中長期的な視点で設備の老朽化対策を行います

行政の取り組み

- ICT化、防災・防犯機能強化、脱炭素化などの新時代の要請に応え、中長期的な視点に立った設備機能の整備を行います。
- 将来にわたって園児児童生徒一人ひとりの多様なニーズにも対応できるように、速やかなバリアフリー化を行います。

みんなで一緒に取り組もう

- 未来の園児児童生徒がどのような設備を必要とするか、みんなで意見を出しましょう。

3. 学校給食の充実を図ります

行政の取り組み

- 子どもの意見を取り入れた質の高い給食の提供に取り組めます。
- 安全でおいしい給食を提供するため、食材の安全確保と地場産物の利用拡大を推進します。
- 食中毒や異物混入を防止するため、給食提供の工程と施設設備の管理を徹底して行います。

みんなで一緒に取り組もう

- 給食を残さず食べましょう。
- 食べ物はよく噛んで食べましょう。
- 学校給食に興味を持ち、家庭でも作ってみましょう。

イラスト

いまの姿

- 学力においては、令和 6 年度大分県学力定着状況調査の結果から、小・中学校ともに、実施されたすべての教科で正答率が県平均を上回っており、一定の成果が表れています。
- 体力においては、令和 6 年度全国体力・運動能力等調査結果から、小・中学校ともに、運動への愛好度が 90%を超え、全国・県に比べて高くなっています。
- 令和 6 年度全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問では、「楽しい」という肯定的な回答が、小学校87.7%、中学校は90.0%となっています。

8年後の姿

安全・安心な教育環境の中で、子どもたち一人一人が自分のよさや可能性に気づき、学力や体力、豊かな人間性が育まれています。

成果指標

学校が楽しいと思う児童・生徒の割合

88.9%

（令和6年度）



95%

（令和15年度）



8年間の取り組み

1. 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育を推進します

行政の取り組み

- 確かな学力の育成に向け、問題解決的な展開による学習活動の充実、ICTの効果的な活用による指導方法の工夫改善を進めます。
- 豊かな人間性の育成に向け、道徳教育・人権教育・読書活動・体験活動の充実を図ります。
- 健やかな体の育成に向け、運動の楽しさや喜びを実感し、日常的に運動に取り組むことができる学校体育の充実を図ります。
- 幼児教育・小学校教育の円滑な接続に向け、架け橋期の教育の充実、関係機関との連携・協働による切れ目のない支援を行います。
- 特別支援教育においては、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 図書室や図書館を活用して、本をたくさん読みましょう。
- 運動場や公園などで、体をいっぱい動かしましょう。
- まちや地域のイベントや体験活動に積極的に参加しましょう。

2. 社会の変化に対応する教育を展開します

行政の取り組み

- 産業人材の活用など、産業界等との連携による探求的な学びを推進します。
- デジタル教材等の先端技術を活用し創造性を育む学びと校務の効率化を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- スマホやタブレットの使い方を、子どもと保護者で一緒に考えましょう。

3. 安全・安心で質の高い教育環境を確保します

行政の取り組み

- 日常的な挨拶や声かけ、教育相談、関係機関との連携等、子どもの成長・発達支援を通じて、いじめ・不登校対策の充実・強化を図ります。
- 学校における「危機管理マニュアル」等の継続的な見直し・改善を行うとともに、デジタル技術を活用した安全教育の充実を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- 子どもたちの安全を地域で見守っていきましょう。

25

社会教育の充実

イラスト

いまの姿

- 中央公民館を拠点とし、公民館主催教室や公民大学、スマホ教室など、多様なニーズに応じた講座等を一般向けに開催しています。今後も、社会の情勢に対応した、さまざまな学習機会の提供が求められます。
- 児童の健全育成を促すため、小学生に対し、安心安全な居場所やさまざまな体験学習を提供する「放課後子ども教室」の開催や、中高生による「ジュニアリーダー」の活動支援を行っています。今後、これらの活動における地域の参画を活発にし、地域全体で子どもを育む体制を整えることが求められます。
- ウェルビーイングを実現するためには、地域のつながりは欠かせません。体育祭やふるさとまつり、軽スポーツ大会など、地区公民館を拠点とした地域交流事業に取り組んでいますが、社会情勢やコロナ禍により、地域コミュニティの希薄化が進行しています。

8年後の姿

誰もが気軽に学び、地域活動に参加する中で、郷土愛が醸成されています。

／ 成果指標 ／

主催教室・自主教室等の参加者数

767 人 → 1,000 人
(令和6年度) (令和15年度)

3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを



8年間の取り組み

1. 誰もが生涯にわたって学ぶことのできる環境を整備します

行政の取り組み

- 学びのニーズを把握し、全ての住民を対象に、魅力ある多様な学びの場を提供します。
- 自主教室や発表の場づくりなど、学びの成果を活かす機会を提供し、住民の学習意欲の向上に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- いろいろなものに興味をもち、学ぶ意欲を持ちましょう。
- 学んだことは家族や友人とも共有しましょう。

2. 様々な体験を通じて子どもたちを育成します

行政の取り組み

- 放課後子ども教室など、地域と連携した様々な体験活動を実施します。
- ジュニアリーダースクラブの活動を支援し、地域の担い手となる人材を育成します。
- 子ども会の活動を支援し、子どもと地域の交流を推進します。

みんなで一緒に取り組もう

- 放課後子ども教室に積極的に参加しましょう。
- 地区に加入し、子ども会で活動しましょう。

3. 地域の交流イベントを支援します

行政の取り組み

- 地区の体育祭やふるさとまつりなど、地域が主体的に開催するイベントを支援します。
- コロナ禍でなくなった行事も含め、地域のニーズに沿った効果的な交流機会を創出します。

みんなで一緒に取り組もう

- 地域のイベントに積極的に参加しましょう。
- 地域のイベントづくりに主体的に関わりましょう。

26

文化財・歴史の継承

イラスト

いまの姿

- いくつもの時代を経て受け継がれてきた郷土の歴史・文化財はいま、継承者の高齢化に加えて次世代の担い手が不足するなど消失・散逸の危機にあり、所在確認や記録・収集保存、文化財（指定・登録）としての保護が急がれます。
- 郷土の歴史・文化財の継承者はいま、その維持や修復、整備、公開などの負担に苦悩する現状にあり、日出町・日出町民の共有財産としての継承者支援、また、次世代の継承者育成が求められます。
- 郷土の歴史・文化財は他に二つとない唯一無二の地域資源であり、教育や観光、産業、自治など、日出町の振興に広く活かされる取り組みが求められます。

8年後の姿

自然と風土に育まれた郷土の豊かな歴史・文化財が後世に守り伝えられ、住民に郷土愛が育まれています。

成果指標

歴史・文化財イベントへの参加者(来場者)数

900 人 → 1,300 人
(令和6年度) (令和15年度)

4 質の高い教育をみんなに



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



8年間の取り組み

1. 文化財の保存・活用を推進します

行政の取り組み

- 的山荘や襟江亭など郷土の歴史を伝える遺産を調査研究し、文化財として保護を図ります。
- 郷土の歴史・文化財を守り伝える継承者の支援、次世代の継承者の育成を推進します。
- 郷土の歴史・文化財を次世代に伝えるための周知啓発（講座等の開催、広報等の情報発信、郷土書籍の刊行）に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 歴史・文化財のイベントに積極的に参加しましょう。
- 郷土の歴史・文化財に関心を持ち、継承者とともに守り伝えていきましょう。

2. 魅力や誇りを育む文化財を創出します

行政の取り組み

- 町内6地区それぞれに育まれてきた多様な歴史・文化、その営みを象徴する文化財を掘り起こします。
- 掘り起こした歴史・文化、文化財を、6地区それぞれの振興のための地域資源として活用します。

みんなで一緒に取り組もう

- 住んでいる地区の歴史や文化について学びましょう。
- 地域資源の掘り起こし調査に参加しましょう。

3. 歴史資料館・帆足萬里記念館の更なる活用を進めます

行政の取り組み

- 郷土の歴史・文化を伝える資料の収集保存、帆足萬里をはじめ郷土が輩出した先哲（偉人）の顕彰に取り組みます。
- 郷土の歴史・文化、先哲を調査研究し、特色ある企画展を開催します。
- 日出町内の小中学校と連携し、学校資料の収集・保存に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 資料館に頻繁に通い、多様なテーマ展示を通じて郷土の歴史を学びましょう。
- 身のまわりの気になる資料は、迷わず町の学芸員に相談してみましょう。

27

スポーツの振興

イラスト

いまの姿

- 新春健康マラソンや生涯スポーツフェスタなど、町や町スポーツ協会が主催するスポーツ大会やイベントへの参加者数は減少し、また参加者の固定化が進んでいます。
- ライフステージの変化や多忙な日常により、スポーツに触れ合う機会のない人がいるため、ライフスタイルに合わせた多様な機会の提供や気軽に始められるきっかけの創出が必要です。
- スポーツ施設の老朽化が進んでいます。社会状況や、多様化する住民ニーズへの対応をふまえながら、計画的な更新を進めています。

8年後の姿

スポーツに取り組む人が増え、スポーツを通して互いにつながり、心も体も健やかに暮らしています。

成果指標

町内スポーツ大会・イベントの参加者数

1,149 人 → 1,400 人
(令和6年度) (令和15年度)

3

すべての人に
健康と福祉を



17

パートナーシップで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. スポーツでまちを盛り上げます

行政の取り組み

- 生涯スポーツフェスタなどスポーツイベントの充実を図ります。
- まちのスポーツに関する情報を様々な媒体を活用し広く発信します。
- スポーツイベントを通じて町内外へのまちの魅力を発信します。

みんなで一緒に取り組もう

- スポーツイベントに積極的に参加しましょう。
- スポーツ推進委員を中心に各地域でスポーツイベントを開催しましょう。

2. スポーツ人口を増やします

行政の取り組み

- スポーツに触れ合う機会を提供するため、総合型地域スポーツクラブを支援します。
- 高齢者や運動が苦手な人も参加できるスポーツの普及に取り組めます。
- スポーツ協会、スポーツ少年団をはじめとする各組織との連携をはかり、競技力向上を図ります。

みんなで一緒に取り組もう

- スポーツに親しみ、健康で活力に満ちた生活を送りましょう。
- スポーツ団体は、指導者・選手の育成や団体間の連携に取り組めましょう。

3. 安心してスポーツが楽しめる環境を整備します

行政の取り組み

- 計画的にスポーツ施設の整備・更新を行い、機能維持に取り組めます。
- 安全性を確保するため、既存施設の定期的な点検・維持管理を行います。

みんなで一緒に取り組もう

- スポーツ施設を積極的に利用しましょう。
- 施設の備品等は、大切にルールを守って使いましょう。

28

図書館の充実

イラスト

いまの姿

- 平成 27 年 7 月に複合施設「交流ひろば HiCaLi」に移転開館した日出町立図書館の来館者数は、翌年度の 109,677 名を最高に年々減少し、コロナ禍の影響もあり令和 2 年度は 57,744 名まで落ち込みました。しかし、現在は 89,419 名(令和 6 年度)と持ち直してきています。
- 図書館に足を運んでもらえるよう、季節や行事、時事・社会問題等、来館者の興味を引く展示や、魅力的な催し物の充実を図っています。
- 図書館関係団体間の交流を促進し、活動の活性化をめざしてきましたが、読み聞かせボランティアなどの担い手不足が課題となっています。

8年後の姿

サービスやイベントが充実した図書館に、毎日多くの人が訪れ、学びを深めています。

成果指標

図書館来館者数

89,419 人

(令和6年度)



106,000 人

(令和15年度)

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナシップで
目標を達成しよう



8年間の取り組み

1. 図書館活動・サービスを充実します

行政の取り組み

- 利用者ニーズに応え、資料を計画的に収集・整理・保存し、蔵書構成の充実を図ります。
- 町民が利用しやすい工夫をし、安全で快適な施設環境の整備を行います。
- 調べもの相談（レファレンスサービス）の充実に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 図書館の本は、次の利用者のためにルールを守り、大切に扱いましょう。
- 図書館での学びを、暮らしや地域の課題解決に活かしましょう。

2. 魅力的な展示やイベントを開催します

行政の取り組み

- 季節や行事、時事、社会問題等、来館者の興味を引く展示やイベントを開催します。
- 各種イベント等を通して図書館の情報を発信し、新たな利用者層の拡大を図ります。
- 企画展示等を通じ、行政への理解を広げていきます。

みんなで一緒に取り組もう

- 講演会等のイベントや展示の関連本を借りてみましょう。
- 本や情報を通じて様々な人と交流しましょう。

3. 子どもの読書活動を推進します

行政の取り組み

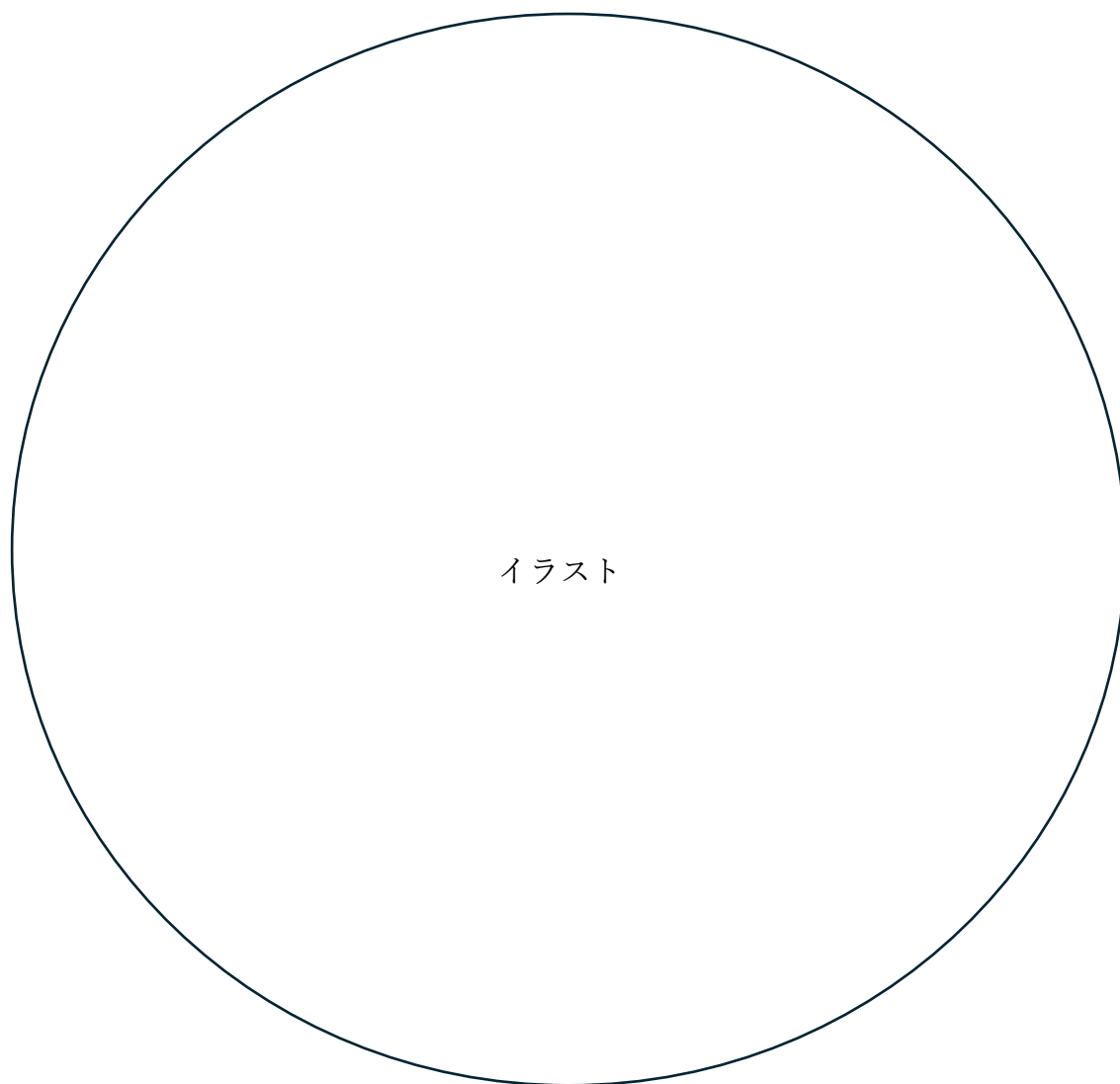
- 県立図書館、学校図書館、幼稚園など関係機関との連携・協力体制を整備します。
- 読書ボランティア等の関係者が交流を深め、情報共有できる機会を提供します。
- ブックスタート事業などを通じ、乳幼児期からの読み聞かせを推進します。

みんなで一緒に取り組もう

- 家でも子どもに読み聞かせをしましょう。
- 親子で読書活動を習慣化していきましょう。

29

職員満足度の向上



イラスト

いまの姿

- 人材獲得競争が激化する中で、優秀な人材を確保するため、平成 30 年度から秋採用を、令和 4 年度から社会人採用を本格的に取り入れました。その結果、職員の年齢構成や経験年数等が複雑化しており、適切なキャリア形成支援等の人材マネジメントが難しくなっている状況です。
- 今後、少子高齢化がピークを迎え、労働力の不足が避けられない中で、業務効率化、職員の超過勤務時間の削減及びワークライフバランス向上のため、令和5年度から事務センターの運用を開始しました。

8年後の姿

職員が働くことにやりがいを感じ、多様な個性を尊重し、成長し続けることで、住民サービスが向上しています。

5 ジェンダー平等を実現しよう



8 働きがいも経済成長も



11 住み続けられるまちづくりを



職員の職場満足度

＼ 成果指標 ／

73%

（令和6年度）



85%

（令和15年度）

8年間の取り組み

1. 成長が実感できる人材育成を行います

行政の取り組み

- 育成型ジョブローテーションを実施し、様々な行政経験を持った若手職員の育成を行います。
- 職員のキャリア形成支援や自ら進んで学べる場の提供を積極的に行います。
- 職員の能力向上や成長に繋がる人事評価制度の活用に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 役場がよくなるアイデアを、積極的に提案しましょう。

2. 多様で優秀な人材確保を行います

行政の取り組み

- 採用後のミスマッチ防止のため、就職希望者に必要な採用情報を積極的に発信します。
- 就職希望者の理解を深めるため、インターンシップの実施等で町職員の業務を知る機会をつくれます。
- DX人材や土木技師等の専門職の確保を積極的に行い、研修等を通じて育成を行います。

みんなで一緒に取り組もう

- 知り合いに公務員になりたい人がいたら、日出町役場へのインターンシップを紹介しましょう。

3. 誰もが働きやすい職場づくりを推進します

行政の取り組み

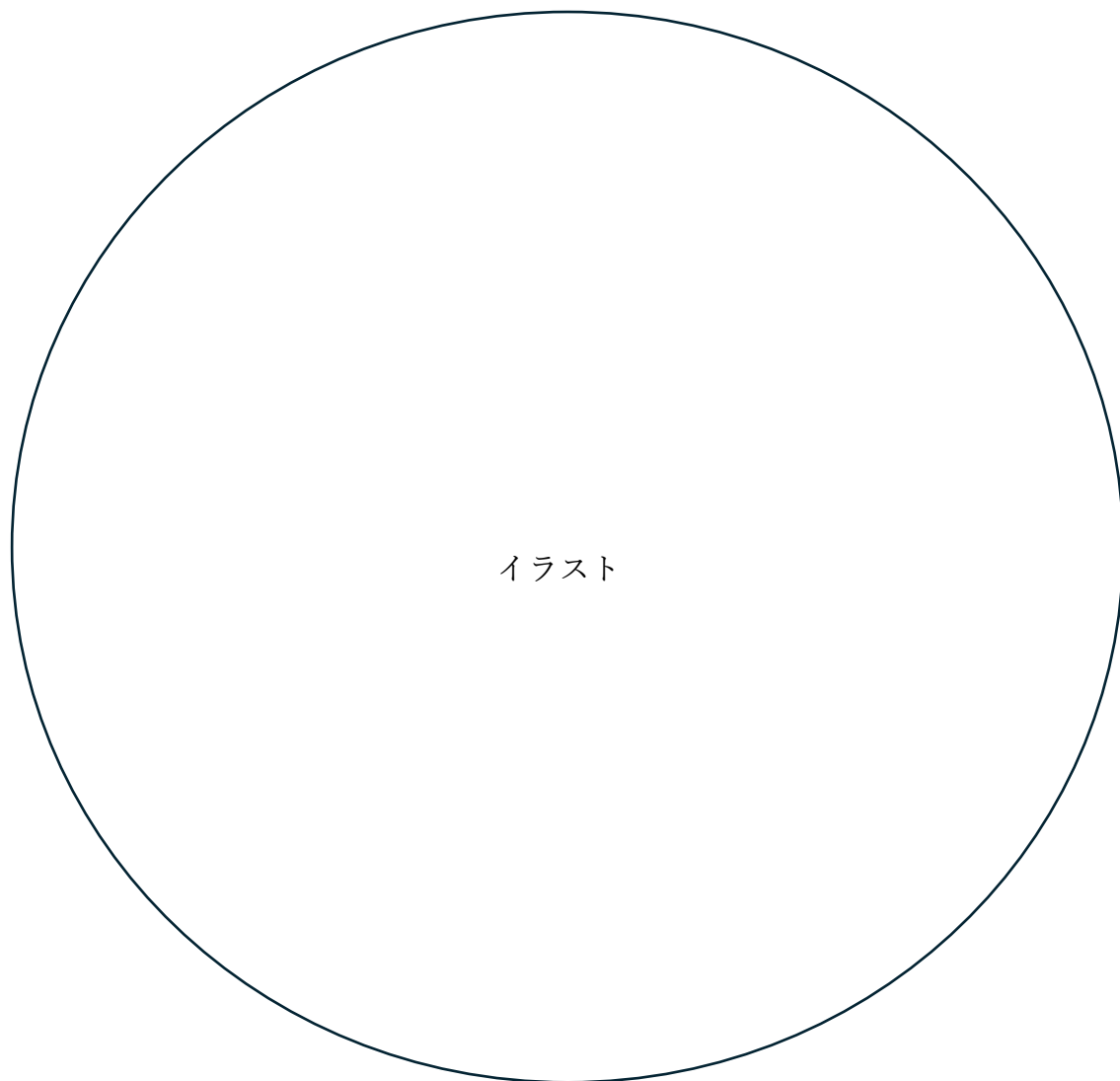
- 多様な人材の個性や能力を最大限発揮できる人材配置を行います。
- ワークライフバランス実現のため、全職員が常にコスト意識を持ち、DX等を活用した業務改善に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 役場内で、他のお客さんの迷惑になるような行為はしないようにしましょう。

30

町有資産の活用



イラスト

いまの姿

- 未利用の遊休施設・遊休地や機能していない法定外公共物(里道や水路)が存在し、維持管理費が年々負担となり、施設の老朽化も進行しているが、効果的な利活用策を見いだせていない状況です。
- 川崎工業団地は、平成26年に民間企業からの譲渡により町の施設として引き継がれ、現在は3社に貸付を行っていますが、使用が困難なスペースもあり、棟によっては建築から50年以上が経過し、建物の老朽化も進行しています。他の施設も老朽化が進んでいますが、予防保全に取り組めていない状況です。

8年後の姿

未利用財産が適切に利活用され、波及効果も含めた歳入確保へ繋がっています。

／ 成果指標 ／

未利用財産の利活用による歳入額

0 円

（令和6年度）



3 千万円

（令和15年度）



8年間の取り組み

1. 未利用の遊休施設・遊休地の活用に取り組みます

行政の取り組み

- 賃貸借や売払いを想定した「利活用可能財産台帳」を整備します。
- 「利活用可能財産台帳」のオープンデータ化を図ります。
- 遊休施設・遊休地の積極的な処分（貸付・売却・解体等）に取り組みます。

みんなで一緒に取り組もう

- 町の遊休施設や遊休地に何ができたらよいか、考えてみましょう。

2. 川崎工業団地等の普通財産施設の整備を推進します

行政の取り組み

- アセットマネジメントに基づく施設の分析を行います。
- 計画的な施設修繕計画を作成し実施していきます。

みんなで一緒に取り組もう

- 川崎工業団地ではどのようなものが生産されているか調べてみましょう。
- その他の施設（普通財産）にはどのようなものがあるか調べてみましょう。

■関連計画 日出町公共施設等総合管理計画 日出町公共施設個別施設計画

■用語解説 普通財産…特定の用途や目的を持たず、貸付や売却などが可能な土地や建物などのこと。

31

公共施設の長寿命化

イラスト

いまの姿

- 公共施設の老朽化は社会的な問題となっており、日出町においても大きな課題となっています。今後、維持管理費や改修・更新等の費用が増大することが見込まれ、町の財政を圧迫し、他の行政サービスにも影響を及ぼすことが懸念されます。
- 令和 3 年度末、これらの公共施設のうち築 20 年以上の公共施設は 87.0%、築 30 年以上の公共施設は 69.8%と老朽化が進んでおり、今後大規模改修や建替えが必要となります。

8年後の姿

長寿命化された安全な公共施設に、多くの人が集まり、積極的に活用されています。

成果指標

長寿命化実施率

19.1%

（令和6年度）



100%

（令和15年度）



8年間の取り組み

1. 長寿命化・維持補修を計画的に行います

行政の取り組み

- 各種施設管理計画等の確実な実行に向けた進行管理を行います。
- 劣化が進む前に計画的な点検や劣化診断を行います。
- 有利な起債、補助金等を活用しながら、年度ごとの費用の軽減及び平準化につながるよう施設の更新等を行っていきます。

みんなで一緒に取り組もう

- 住民の交流拠点として公共施設を利用し、地域のつながりを支えましょう。

2. 施設の安全確保に取り組めます

行政の取り組み

- 公共施設のバリアフリー化に取り組めます。
- 災害時における拠点施設としての安全性・機能性を確保します。

みんなで一緒に取り組もう

- 公共施設はルールを守って正しく使いましょう。

3. 保有量とコストの最適化に取り組めます

行政の取り組み

- 利用状況、町民ニーズの変化に応じて、公共施設等の保有量を最適化していきます。
- PPP/PFIの活用を含めた運営形態の検証を図り、効率的に施設を管理していきます。

みんなで一緒に取り組もう

- 公共施設はみんなのものという意識を持ち、大切に使いましょう。

■関連計画
■用語解説

公共施設等総合管理計画、公共施設個別施設計画、学校施設長寿命化計画、公営住宅長寿命化計画
PPP・・・官民連携。PPPはPFIも含んだ官民連携に関するより広い概念。
PFI・・・公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法

32

DXの推進

イラスト

いまの姿

- 日出町DX推進計画を策定し、Digital Fast Return ～ みんなが便利に 日出町のデジタル化 ～ を目標に13項目の取組をそれぞれロードマップを基に実施しています。
- 行政手続きのオンライン化を実施し、R6末にて121手続きをオンライン化し、オンライン申請件数 9,784 件を達成しました。

8年後の姿

行政手続きのオンライン化により、住民が「役場などの窓口」が「オンライン」かを自分で選択でき、行政手続きに係る住民の負担が解消されています。

＼ 成果指標 ／

オンライン申請件数

16,000 件 → 38,000 件
(令和6年度) (令和15年度)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



8年間の取り組み

1. 行政手続きのオンライン化を推進します

行政の取り組み

- 役場における行政手続きをオンラインで申請できるよう取り組みます。
- オンライン化した手続きを住民が申請しやすくするため、スマホ教室を実施します。
- 住民の利用シーンに合わせた申請システムを構築します。

みんなで一緒に取り組もう

- どんなオンライン申請があるか確認し、実際に利用してみましょう。
- スマホなどに慣れるためにスマホ教室などに積極的に参加しましょう。

2. 役場窓口をワンストップ化します

行政の取り組み

- 来庁時にワンストップで手続きができるよう役場内の窓口を集約化します。
- マイナンバーカードを活用したワンストップで手続きができるシステムを導入します。

みんなで一緒に取り組もう

- マイナンバーカードを取得し、ワンストップ窓口を利用しましょう。

3. 行政分野におけるデータの利活用を推進します

行政の取り組み

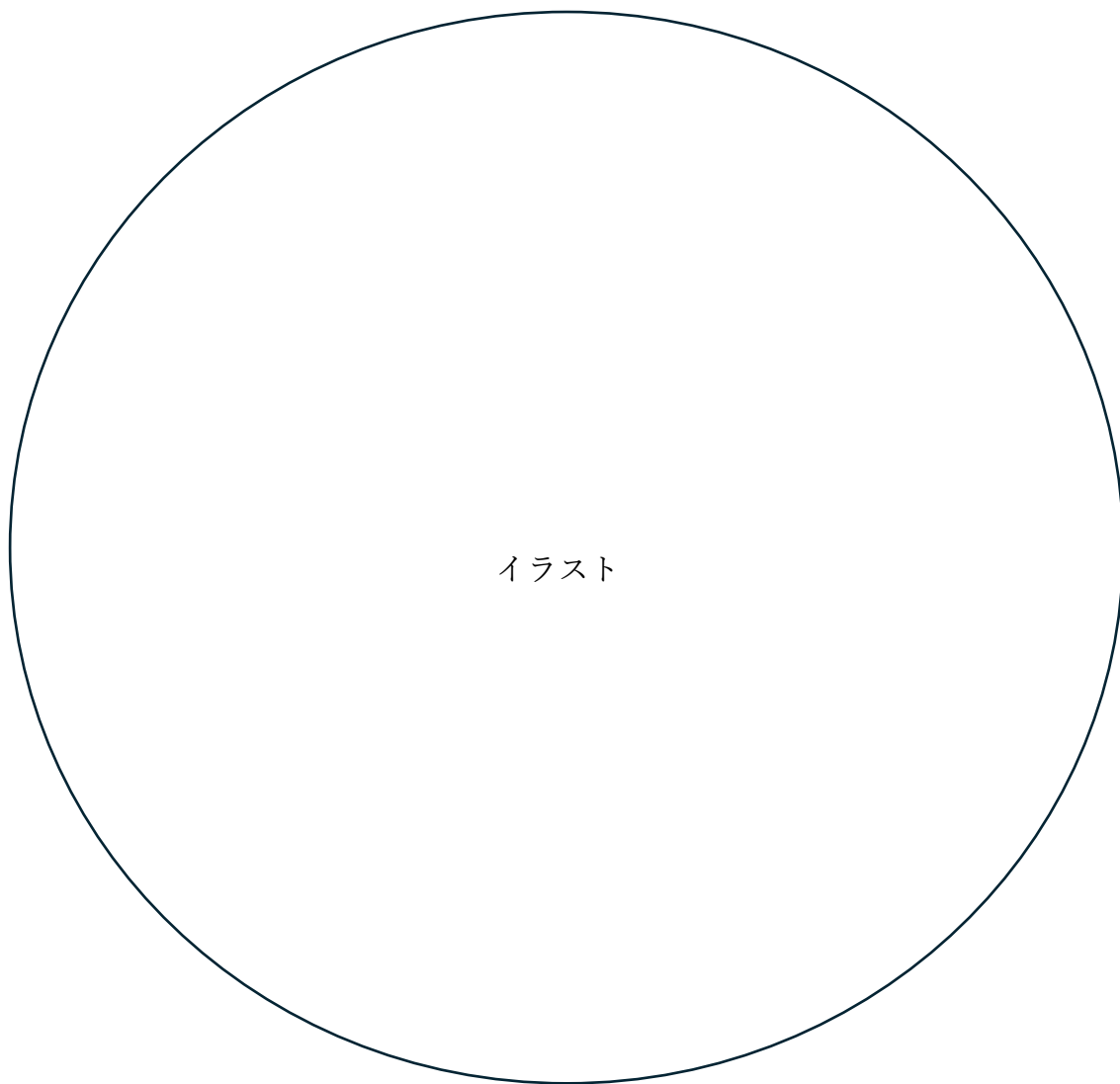
- 町が保持しているデータを活用するため、データ分析や可視化ができるよう取り組みます。
- 分析や可視化したデータを活用し、行政サービスの政策立案に役立てます。
- 民間事業者や団体が利活用しやすいよう町が保有するデータのオープンデータ化を進めます。

みんなで一緒に取り組もう

- 公開されたデータを積極的に活用しましょう。

33

収納率の向上



イラスト

いまの姿

- 令和 6 年度の町税全体の徴収率は 99.50%となっています。
- 町政運営における財源確保と納期内納付をされている大半の納税者の方々との公平性を担保するため、財産の差押え等の滞納整理も適時進めています。

8年後の姿

住民の納税意識が高まり、住民や事業者が納期内に納税し、収納率が向上しています。

／ 成果指標 ／

町税の収納率(滞納繰越含む)

97.5%

(令和6年度)



98.5%

(令和15年度)



8年間の取り組み

1. 納税しやすい環境を整えます

行政の取り組み

- 共通納税（QRコード）対応税目の追加や、口座振替の推進などにより納付環境の拡充拡大を図ります。
- 関係機関との連携・協力体制を構築し、誰でも利用しやすい納付窓口を目指します。
- SNS などを使った広報などにより、納期内納付を促します。

みんなで一緒に取り組もう

- 税金は納期内に納めましょう。
- 納期が近くなったら、家族や知人に納め忘れないか確認しましょう。

2. 徹底した滞納整理を行います

行政の取り組み

- 財産調査により発見された財産の性質を見極め、効率的に滞納処分を行います。
- 高額滞納者や解決が難しい案件については、大分県や他自治体と連携し解決を図ります。
- 滞納処分の執行停止など迅速かつ適正な処理を行います。

みんなで一緒に取り組もう

- 税の仕組みについて学びましょう。
- 税金が何に使われているか、調べてみましょう。